



三重交通グループホールディングス
CSR REPORT 2018



Mie Kotsu Group

 三重交通グループホールディングス株式会社





Contents

トップメッセージ	3
三重交通グループについて	5
会社概要	7
三重交通グループ中期経営計画(2016 - 2018)	8
財務諸表	11
CSRへの考え方/グループ基本理念/経営指針	12
コーポレート・ガバナンス	13
安全・安心への取組み	16
バス事業の取組み	17
その他バス事業の取組み	20
その他事業の取組み	22
環境への取組み	24
特集 再生可能エネルギー	25
バス事業の取組み	27
その他事業の取組み	28
社会への取組み	30
特集 インバウンド(訪日外国人観光客)への取組み	31
お客様のために	33
株主・投資家の皆様のために	36
従業員のために	37
地域のために	38

編集方針

○報告内容範囲と主な対象

当社および当社グループが、企業の社会的責任として取り組んでいる企業活動、社会活動、環境保全活動を中心に掲載し、当社グループ事業のステークホルダーの皆様がより一層のご理解と親しみを持って頂けることを目的とします。

○数値データ 集計対象期間 2017年4月1日～2018年3月31日

数値データについては、三重交通グループ主要会社または一部の会社の合計となります。ただし、中期経営計画の進捗状況においては、2018年11月7日現在の内容を掲載しています。

○対象範囲

2017年度(2017年4月1日～2018年3月31日)の取組みを基本として、必要に応じて2017年度以前・2018年度の活動についても一部紹介しています。

○作成指針

以下のガイドライン等を参考にしました。

- ・環境省「環境報告ガイドライン2012年度版」
- ・「GRI(Global Reporting Initiative)サステナビリティ・レポート・スタンダード2016」

※可能な限り収集データには精度を求めましたが、一部推計として集計しているものがあります。

※各取組みについては実施の各会社名を記載しています。

○内容へのご意見・お問い合わせについて

当社では、ホームページの「ご意見・ご要望・お問い合わせ」ページ等でお客様の声をお待ちしています。CSRに関する当社の取組みや本レポートへのご意見・ご感想を頂ければ幸いです。お寄せいただきましたお客様の声は、今後の施策の参考にいたします。

お問い合わせページ

<https://holdings.sanco.co.jp/contact/>

(お問い合わせ先)

三重交通グループホールディングス株式会社

〒514-0032 三重県津市中央1番1号

TEL.059-213-0351



地域に密着した持続的な成長をする 総合生活産業を目指します

平素より三重交通グループの事業に対し、格別のご理解を賜り誠にありがとうございます。

当社は、三重交通グループを統括する純粋持株会社として、グループの基本戦略を計画・遂行するとともに、各社の経営及び事業活動を推進・支援しております。三重交通ブランドと信用力を基に、運輸、不動産、流通、レジャー・サービスの異なる4つの部門が連携し、相互に補完しながらリスクに強い体制を構築して、地域に密着した総合生活産業を営む企業グループとして持続的な成長を続けていくことを目指しています。また、お客様や地域社会のお役に立ち、信頼をいただくことで企業グループが存続できると考えており、今後も引き続き「安全・安心・安定・快適なサービス」を提供してまいります。

当社グループの根幹は運輸業であり、長年にわたり地元でバス事業を営み、地域住民の足として公共的役割を果たしてきた知名度と信用力が最大の財産です。これが、不動産、流通、レジャー・サービス各事業の信頼の源泉となることで、事業規模を拡大してまいりました。この信頼の源泉を維持するものが「安全」であり、当社グループは常日頃から安全に対して絶えず高い意識を持って取り組み、組織全体で緊張感を高め、模範となる体制の堅持に努めています。

近年、ESGが企業価値の評価指標としてますます重視され、SDGsは評価のための共通言語になりつつあります。ESGとは、環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) の頭文字を取ったものであり、企業の価値を測る尺度について、

業績や財務の情報などに加え、環境・社会・ガバナンスといった非財務情報を企業評価に取り入れようとする動きが急速に拡大しています。

一方、SDGs(Sustainable Development Goals)は、国連が2015年にまとめた持続可能な開発目標のことであり、飢餓の根絶や地球温暖化対策など、2030年までに世界が達成すべき17項目の大きな目標を取り上げています。

地球環境問題や経済・社会問題は深刻度を増し、政府や国際機関だけでは対処できなくなりつつあります。企業も環境、経済・社会への影響力が大きく、業務体制の変革や技術革新を通じて様々な課題に取り組むことが求められています。

当社グループの取組みとして、環境面では、「再生可能エネルギー」の普及促進に貢献すべく、これまでに発電規模約75メガワットにわたるメガソーラーを稼働させ、2017年度には三重交通バス3営業所にて車庫の上屋に太陽光パネルを設置し、発電を開始しました。その他、ハイブリッドバスの導入、LEDライトへの切り替え、ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の普及拡大など、環境に配慮した企業活動を行っています。

社会面では、高齢者人口の増加に対応するため、各社バリアフリー化に積極的に取り組んでいます。バス事業では、運転免許返納割引制度など高齢者が利用しやすいサービスを設け、バスの利用促進につなげています。また、近年のクルーズ船の寄港や、東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けてインバウンドの増加が更に見込まれる中、当社グループは様々な対応を進めています。外国語表記の充実のほか、Wi-Fiや支払方法などインフラの整備をはじめ、積極的な誘致活動を行う事で、地域の活性化につながるよう取り組んでいます。

今後も持続可能な経営を志向し、企業の社会的責任として、環境、社会、経済の諸問題に取り組んでいく所存です。

～中期経営計画～

さて、当社グループは、2016年2月策定の中期経営計画に基づき、積極的に事業を展開してまいりました。特に、先程も述べました成長分野である環境エネルギー事業及び「三交イン」のブランド名で展開しておりますビジネスホテル事業では投資計画を着実に実行し、利益水準が向上しました。

2018年3月期の連結業績につきましては、営業利益は2006年のホールディングス体制移行後の最高益を達成し、経常利益は初の60億円台で2期連続、純利益については6期連続で最高益を更新することができました。

2018年上半期においても、中期経営計画に則り投資を進め、収益力強化を図りました。7月には三重県菰野町の御在所ロープウェイがリニューアルオープンを迎え、おかげさまで多くのお客様にご来場いただいています。9月にはフランチャイズ経営する東急ハンズの名古屋市内3店舗目となる「名古屋ゾウンダーシティ店」がオープンし、更に関西初進出となる「三交イン大阪淀屋橋」が開業しました。

また、2018年7月26日から8月20日まで三重県を中心とした東海地区において開催された全国高等学校総合体育大会では、競技参加者を含め約39万人の来場があり、当社がネーミングライツを取得し、支援を行っている「三重交通^{グループ}Gスポーツの杜 鈴鹿・伊勢」の両施設においても競技が行われたほか、当社グループでは、選手・関係者輸送をはじめ、宿泊施設の提供、ドライブインでの食事提供などで協力させていただきました。

当期は3カ年の中期経営計画の最終年度であり、3カ年の集大成として次期計画に向け、さらに強固な経営基盤を確立し、さらなる飛躍へとつなげていく所存です。

皆様におかれましては、今後も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

三重交通グループは、安全・安心・安定・快適なサービスの提供を目指します。

運輸業

運輸業は、グループ6社からなり、三重交通グループの基幹事業の一つとして、日本でも有数の規模を誇るバス事業を中心に展開しております。地域社会の足として、安全対策の推進、多様化する顧客ニーズへの対応を行い、更なるお客様満足度向上を目指しています。



三重交通株式会社



三重県内を中心に、地域の公共交通として乗合・貸切バス事業を展開しています。

さらには、名古屋・東京・大阪・京都への都市間高速バスや、中部国際空港行のリムジンバスを運行しています。

名阪近鉄バス株式会社



愛知県・岐阜県・三重県の東海地方において、基幹事業の貸切バス事業をはじめ、岐阜県西濃地域をつなぐ乗合バスやコミュニティバス、名古屋から京都・大阪・USJの都市間を結ぶ高速バスを運行しています。

三交伊勢志摩交通株式会社



三重県伊勢志摩地区の一部乗合路線と「高速鳥羽大宮線」を運行するほか、貸切バス事業や三重交通からの貸切運行受託事業を行っています。

三重急行自動車株式会社



貸切バス事業や三重交通からの貸切運行受託事業のほか、三重県松阪市内の一部路線を運行しています。

八風バス株式会社



三重県の桑名駅からいなべ市大安町を結ぶ乗合バスの運行や、東員町のコミュニティバスの運行受託を行っています。

株式会社三交タクシー



三重県桑名市から志摩市にかけて6つの営業所を持つ、県内有数のタクシー会社です。観光タクシーのほか、病院の受付・買物代行などにもご利用いただいております。

不動産業

不動産業は、グループ3社からなり、三重交通グループの基幹事業の一つとして、多彩なニーズを捉えた「まちづくり」の一翼を担っております。環境工ネルギー事業の「メガソーラー」にも注力し、安心・快適な都市空間・住空間を広げています。



三交不動産株式会社



中部圏・首都圏・近畿圏において、多岐にわたる事業を展開している総合不動産会社です。トータルにデザインされた街づくりを展開する分譲戸建ブランド「Precia(プレシア)」、首都圏・近畿圏でも事業を展開しているマンションブランド「Praise(プレイズ)」、その他にも「SANCO HOME」の名称で親しまれる注文住宅事業や、リフォーム事業、仲介事業、施設賃貸事業などを展開しています。近年では、環境に優しいクリーンエネルギーのメガソーラー発電所なども多数開発しています。

株式会社三交コミュニティ



三重県、愛知県を中心に、分譲マンションやビル・商業施設などの総合管理事業、ホテルの客室清掃事業を行っています。また、建物設備やマンションの大規模修繕工事、庭木・植栽の剪定など、地域に根ざした事業を展開しています。

株式会社三交不動産鑑定所

中部地区を中心に、不動産鑑定と補償コンサルタントを両輪とした業務を展開しています。

流通業

流通業は、グループ4社からなり、石油製品販売事業、生活用品販売事業でのフランチャイズ展開等を行っております。暮らしを支える商品・サービスを提供し、快適で創造性豊かな暮らしの実現をサポートしています。



三重交通商事株式会社



三重県内と名古屋において、サービスステーションを展開して石油製品を販売しています。また、整備工場での自動車整備や液化石油ガスの供給などの事業も展開しています。

株式会社三交シーエルトゥ



三重県初出店となる「東急ハンズ桑名店」と、名古屋市のmozoワンダーシティ内にある「東急ハンズ名古屋モゾワンダーシティ店」の2店をFC運営。お客様一人ひとりのライフスタイル実現のため、幅広い品揃えと、各種イベントを実施しています。

株式会社三交クリエイティブ・ライフ



名古屋市名駅のジェイアール名古屋タカシマヤ5F～11Fにある「東急ハンズ名古屋店」と、栄の「東急ハンズANNEX店」の2店をフランチャイズ展開しています。

三重いすゞ自動車株式会社



三重県内一円に営業拠点を持ついすゞ自動車総販売店です。トラック・バスなどの新車販売業、中古車販売業を中心に、用品の販売・製作、修理・加工及び車体製作、その他付帯事業を展開しています。

レジャー・サービス業

レジャー・サービス業は、グループ12社からなり、旅館・ホテル・ゴルフ場等の運営、観光地コンサルティング等を行っております。国内旅行をはじめ、お客様が休日を楽しむためのサービスを提供し、うるおいのある時間づくりをお手伝いしています。



株式会社三交イン



ビジネスホテルを営む三交インは、東京・静岡・愛知・三重・大阪に全13ホテルを展開し、2019年秋には京都でのオープンを予定しています。

御在所ロープウェイ株式会社



鈴鹿国定公園の主峰御在所岳と湯の山温泉を結ぶ「御在所ロープウェイ」を運営。2018年7月にリニューアルし、全長2,161m、高低差780mの空中散歩で伊勢湾を一望することができます。

鳥羽シーサイドホテル株式会社



2016年に指定70周年を迎えた伊勢志摩国立公園内に位置し、鳥羽湾を一望できるリゾートホテル「鳥羽シーサイドホテル」を運営しています。

株式会社三重カンツリークラブ



御在所岳山麓の湯の山温泉からすぐの場所に位置する本格的リゾートコース「三重カンツリークラブ」(18ホール・パー72)を運営しています。

三交興業株式会社

名阪国道・伊勢自動車道・東名阪自動車道の分岐点である関IC近くに「名阪関ドライブイン」、名阪国道大内IC沿いに「名阪上野ドライブイン」を運営しています。

株式会社松阪カントリークラブ

1978年にオープン、松阪市街地に隣接した丘陵地に位置する「松阪カントリークラブ」(18ホール・パー72)を運営しています。

名阪近鉄旅行株式会社

愛知県、岐阜県、三重県での企画旅行商品「カコーツアー」の販売をはじめ、海外旅行、団体旅行の手配も行っています。

株式会社観光販売システムズ

企画型旅行商品「トライパルツァー」の販売をはじめ、観光地コンサルティング、観光商品マネジメント及びプランニングを実施しています。2019年4月1日 三交通機が吸収合併(予定)

株式会社三交ライビングスクール

四日市自動車学校では、大型一種や大型二種など幅広い車種の運転免許が取得可能です。また、名古屋市区の名四自動車学校を運営しています。

ミドリサービス株式会社

主に岐阜県西濃地域にて、造園土木業、警備業を展開しています。

三交ウェルフェア株式会社

三重県桑名市にあるサービス付き高齢者向け住宅の運営及び介護事業を展開しています。

三重県観光開発株式会社

伊勢志摩スカイラインの有料道路や売店をはじめ、伊勢自動車道の安濃SA上り線、嬉野PA下り線、東名阪自動車道の亀山PA上下線、大山田PA下り線の売店等を運営しています。

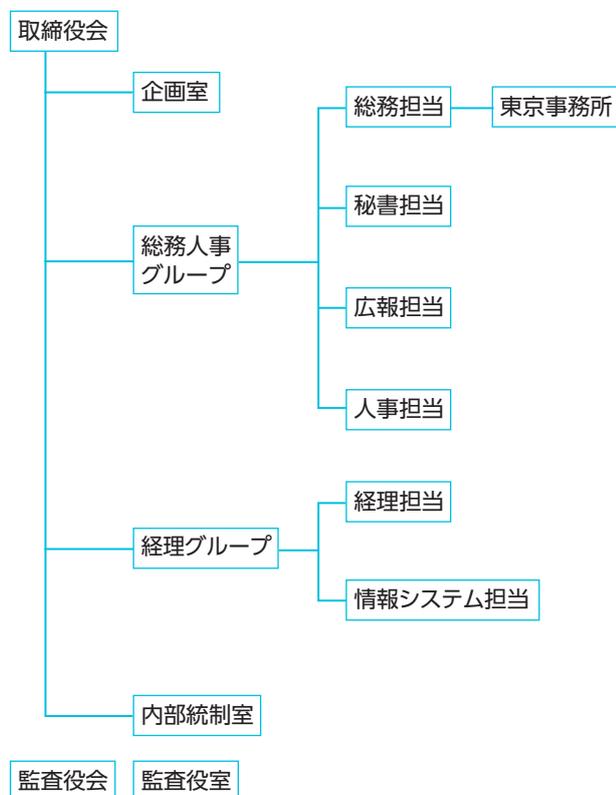
会社概要 2018年6月21日現在

- 会社名 三重交通グループホールディングス株式会社
(英文名 Mie Kotsu Group Holdings, Inc.)
- 設立年月日 2006年(平成18年)10月2日
- 所在地 本社
〒514-0032 三重県津市中央1番1号
東京事務所
〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目1番1号
八重洲ダイビル5階
- 資本金 3,000,000,000円
- 発行済株式総数 107,301,583株
- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 従業員数(2018年3月31日現在) 33名(グループ従業員数 5,938名)
- 上場取引所 東京証券取引所市場第1部、
名古屋証券取引所市場第1部
(証券コード:3232)
- 事業内容 株式所有によるグループ連結経営の立案と実行
- グループ事業 運輸業/不動産業/流通業/レジャー・サービス業
- グループ会社 26社(三重交通グループホールディングスを含む)

役員紹介

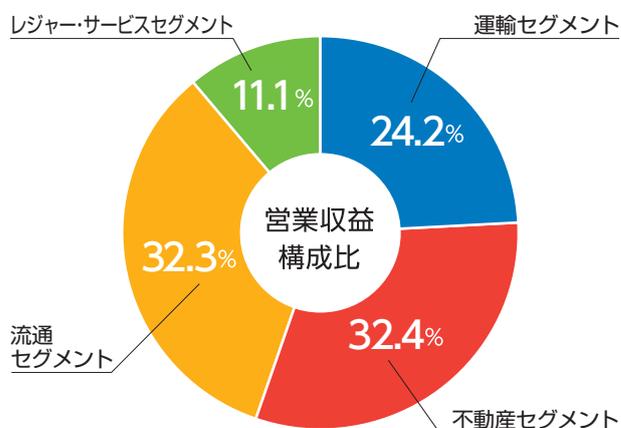
代表取締役会長：岡本 直之
 代表取締役社長：小倉 敏秀
 代表取締役副社長：雲井 敬
 取締役：中川 伸也
 取締役：柴田 俊也
 取締役：川村 則之
 取締役：藤井 俊彰
 取締役：竹谷 賢一
 取締役：高林 学
 取締役：松田 健
 取締役：大川 智弘
 取締役：安藤 澄人
 取締役：藤原 茂久
 取締役：武藤 隆行
 取締役：小林 哲也
 取締役：内田 淳正
 取締役：楠井 嘉行
 監査役(常勤)：柳 佳充
 監査役(常勤)：森口 文生
 監査役：小林 克
 監査役：安本 幸泰

組織図



連結業績 (2017年4月1日~2018年3月31日)

営業収益	104,436百万円	(前期比1.6%増)
営業利益	6,244百万円	(前期比12.0%増)
経常利益	6,431百万円	(前期比17.2%増)
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,172百万円	(前期比18.2%増)



三重交通グループ中期経営計画(2016 - 2018)

計画策定の背景及び進捗状況

策定の背景

2016年2月に策定した3カ年の中期経営計画では、

インバウンドの増加

リニア中央新幹線
建設に伴う
名古屋地区の活況

伊勢志摩サミット
開催による
地域の知名度向上

新名神高速道路の
開通

上記等をビジネスチャンスと捉え、グループの持続的な成長、発展を実現するための3つの基本方針と2019年3月期の数値計画・経営指標等を定めました。

3つの基本方針

～変化の激しい経営環境に適切に順応し、持続的な成長・発展を実現する～

- 1 安全・安心・安定・快適なサービスの提供
- 2 成長分野への戦略的投資
- 3 経営の安定性確保

中期経営計画の進捗

単位：百万円

	2017年 3月期 (実績)	2018年 3月期 (実績)	2019年3月期		
			予想 (2018年 5月公表)	予想 (2018年 11月公表)	経営計画目標値 (2016年 2月公表)
営業収益	102,742	104,436	106,000	107,000	117,000
営業利益	5,576	6,244	6,300	6,400	6,300
経常利益	5,487	6,431	6,100	6,300	5,700
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,529	4,172	4,200	4,300	3,500
自己資本比率	25.3%	28.2%	(30.0%)	(30.0%)	25.7%
ROE (自己資本純利益率)	9.5%	10.0%	(9.2%)	(9.4%)	8.6%
ROA (総資産営業利益率)	3.6%	4.0%	(4.0%)	(4.1%)	3.8%
D/Eレシオ	1.9倍	1.7倍	(1.6倍)	(1.6倍)	1.9倍
有利子負債/ EBITDA倍率	7.0倍	6.2倍	(6.4倍)	(6.4倍)	6.5倍

■ 中期経営計画の当初計画値(2016年2月公表)の達成(2019年3月期については見込み)
() 書の指標等は2018年5月、11月公表数値を基にした予想値

数値計画の進捗状況

2018年3月期の実績

中期経営計画の2年目にあたる2018年3月期は、メガソーラー事業・ビジネスホテル事業の拡大に伴う「事業構造の変革」が一層進み、利益水準が大きく向上しました。

この結果、営業利益については、2006年のホールディングス体制移行後の最高益、経常利益については2期連続、純利益については6期連続で最高益を更新することができました。

また、中期経営計画に定めた目標値については、経常利益、純利益及び全ての経営指標で達成することができました。

2019年3月期の予想

2019年3月期の営業利益はホールディングス体制移行後の最高益を2期連続で更新。また、純利益は7期連続で最高益を更新する見込みです。

(本年11月、営業収益と各利益項目の予想数値を上方修正しました。)

投資

中期経営計画では、総額330億円の投資を計画し、2017年3月期及び2018年3月期の2カ年で約191億円の投資を行いました。2019年3月期は第2四半期までで「御在所ロープウェイ」のリニューアル、「ヤマダ電機・テックランド名古屋港店土地」(不動産賃貸土地)の取得で、約60億円の投資を行いました。今後「(仮称)三交イン京都八条口」の建築工事、「名古屋三交ビル」の建替工事等が進むことで通期の投資額は約100億円になる見込みです。

2019年3月期 セグメント別業績予想

単位：百万円

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
運輸	26,000	1,200		
不動産	36,500	4,600		
流通	37,500	100		
レジャー・サービス	12,800	400		
(調整)	△5,800	100		
計	107,000	6,400	6,300	4,300

中期経営計画において掲げた重点施策の進捗状況 (2018年10月末時点)

運輸セグメント

「伊勢志摩サミット」では、政府・報道関係者、「お伊勢さん菓子博2017」「全国高等学校総合体育大会」では来場者・関係者の輸送を無事に完遂しました。また、名古屋市営バスの受託車両数増加により、収益・利益の安定化が一層進みました。



伊勢志摩サミット
2016年5月26日・27日



お伊勢さん菓子博2017
2017年4月21日～5月14日



全国高等学校総合体育大会
2018年7月26日～8月20日

不動産セグメント

賃貸施設の新規オープンやリニューアル、駐車場事業の拡大、メガソーラー発電所の新規稼働によりストック事業全体の強化が進みました。また、2018年2月には賃貸マンションの開発事業に参入、6月には、名古屋三交ビルの建築工事に着手しました。



LIXILショールーム名古屋
2016年4月オープン



イオンモール桑名
アंक専門店街
2017年3月リニューアル



志摩市阿児立神
メガソーラー発電所
2017年12月運転開始



三交の駐ng
コインパーキング事業
(三重・名古屋)



賃貸マンション開発事業
(プレイズシード桜山)
2018年2月竣工

流通セグメント

2018年9月に東急ハンズの新店舗を名古屋市内のショッピングセンター「mozoワンダーシティ」内にオープンしました。また、自動車販売事業は、2017年3月期に、年間の新車販売台数が10年ぶりに1,000台を超えました。



東急ハンズ名古屋店
2016年11月リニューアル



東急ハンズ名古屋
モゾワンダーシティ店
2018年9月オープン



新車販売台数1,000台超
2016年4月～2017年3月

レジャー・サービスセグメント

伊勢志摩サミット開催に合わせて「鳥羽シーサイドホテル」をリニューアルオープンしました。また、成長分野のビジネスホテル事業では、「三交イン伊勢市駅前」、「三交イン名古屋新幹線口ANNEX」に続き、「三交イン大阪淀屋橋」が2018年9月にオープンしたほか京都・名古屋への新規ホテル計画を決定するなどチェーン拡大を図りました。



三交イン伊勢市駅前
2016年11月オープン



鳥羽シーサイドホテル
2016年4月リニューアルオープン



三交イン大阪淀屋橋
2018年9月オープン



三交イン名古屋新幹線口
ANNEX
2017年12月オープン

インバウンドへの取組み (※特集P31～P32)

インバウンドの誘客活動強化及び受入体制の整備に努めています。

台湾からの誘客活動を強化

御在所ロープウェイは、2018年5月9日、台湾で最長の路線を持つ「猫空(マオコン)ロープウェイ」と認知度向上、相互誘客を目的とした友好協定を締結しました。

友好協定が契機となり、台北メトロの117駅にあるモニターで御在所ロープウェイの動画が放映されています。



調印式



猫空(マオコン)ロープウェイ

御在所ロープウェイ

今後の展開

2018年3月期のインバウンド関連の収益は、三交インの宿泊や東急ハンズでの免税商品売上、貸切バスの利用など把握できているもので約7億円あり、前期に比較して約2億円増加しました。

今後も、バスやホテル、レジャー施設などグループのシナジー効果を発揮した誘客活動を強化し、インバウンド関連の収益拡大を目指します。

■ 運輸 ■ 流通 ■ レジャー・サービス



引き続きインバウンド関連の収益を拡大

東急ハンズ「名古屋モゾ ワンダーシティ店」

東急ハンズ名古屋モゾ ワンダーシティ店を2018年9月にオープンしました。「mozoワンダーシティ」は、鉄道、道路のアクセスで利便性に優れ、店舗面積において中部圏最大級を誇る郊外型のショッピングセンターです。今後は、ANNEX店、名古屋店と合わせて名古屋地域における事業拡大を目指します。



ビジネスホテル事業の拡大

成長分野のビジネスホテル事業の三交インでは、「(仮称)京都八条口」と、「(仮称)Grande名古屋」の開業計画が決定し、2,000室体制構築の目途が立ちました。今後は、ゴールデンルート上の店舗拡充に努めるとともに、出店エリアも拡大する予定です。

(仮称)三交イン京都八条口



メガソーラー事業

太陽光発電施設の着実な開発により、収益拡大が続いています。現在建設中のメガソーラー発電所2施設が完成すると発電規模は102MW、営業収益は43億円に到達する計画です。

メガソーラー事業計画



*当該年度末までに運転を開始した施設が1年間を通して稼働した場合の営業収益を記載

名古屋三交ビルの建替え

名古屋三交ビルは建替え計画を進めており、2018年6月から建築工事に取り掛かり、東京オリンピックが開催される2020年6月までに店舗、オフィス、ビジネスホテル((仮称)三交インGrande名古屋)を含む複合ビルとして開業し、当社グループの新たなシンボルとなるビルになる予定です。名駅エリアの新たな都市機能と景観を創出し、更なる地域活性化の一端を担っていきます。

名古屋三交ビル概要

総事業費	約50億円(解体費等を含む)
延床面積	約10,470㎡(約3,167坪)
構造規模	鉄骨造地下1階地上16階
地下1階	地下街ユニモールへ直結
1階	店舗
2階～7階	オフィス
8階～16階	(仮称)三交インGrande名古屋128室(計画)

立地特性

- 1 リニア中央新幹線名古屋駅(計画)に近接
- 2 名古屋駅から徒歩8分 地下鉄国際センター駅に直結
- 3 名古屋市のメイン道路「桜通」沿い
- 4 名古屋駅から続く地下街ユニモールにも直結



2018年6月建築工事着工

御在所ロープウェイ リニューアル

御在所ロープウェイは、2018年7月にリニューアルオープンしました。新たに導入したゴンドラ(10両)では、窓のサイズアップに加え、床面にも展望窓を設けました。また、山頂に展望レストランを新築、山麓にアウトドアショップ「モンベル」を出店し、引き続き「顧客満足度のアップ」や「収益の向上」を目指します。

新ゴンドラの導入(一部)

- 1 床面展望窓の新設
- 2 窓のサイズアップ

御在所岳の絶景を体感!!



mont-bell

山麓エリアには「モンベル」をフランチャイズで出店

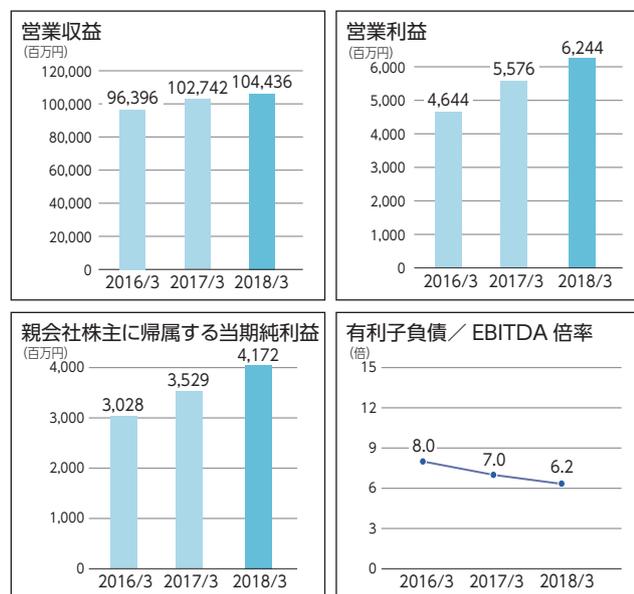


財務諸表

経営指標

	2016/3	2017/3	(百万円) 2018/3
営業収益	96,396	102,742	104,436
営業利益	4,644	5,576	6,244
営業収益営業利益率 (%)	4.8	5.4	6.0
連結子会社数 (社)	23	23	23
経常利益	4,483	5,487	6,431
総資産経常利益率 (%)	3.1	3.6	4.1
親会社株主に帰属する当期純利益	3,028	3,529	4,172
自己資本当期純利益率 (%)	9.0	9.5	10.0
1株当たり当期純利益 (円)	32.23	35.95	42.15
1株当たり配当 (円)	6	7	8
利益剰余金	17,167	20,134	23,111
総資産	150,882	155,859	155,787
自己資本	34,827	39,451	43,973
自己資本比率 (%)	23.1	25.3	28.2
発行済株式数 (千株)	107,301	107,301	107,301
1株当たり純資産 (円)	370.68	398.51	444.19
有利子負債	74,969	76,837	74,406
EBITDA (営業利益+減価償却費)	9,429	10,919	11,921
有利子負債 / EBITDA 倍率 (倍)	8.0	7.0	6.2
減価償却費	4,784	5,343	5,676
設備投資	10,770	11,496	7,727
営業活動 CF	△ 2,333	8,154	11,598
投資活動 CF	△ 10,727	△ 12,075	△ 8,500
財務活動 CF	12,931	3,410	△ 3,145
現金及び現金同等物期末残高	3,256	2,747	2,699

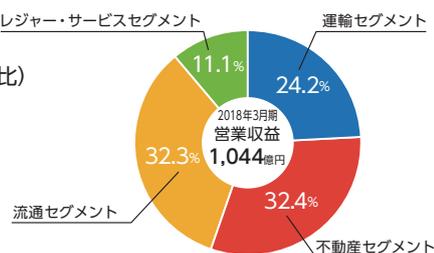
財務情報



セグメント情報

	2016/3	2017/3	(百万円) 2018/3
営業収益	96,396	102,742	104,436
運輸セグメント	26,817	26,345	26,604
一般乗合旅客自動車運送事業	11,452	11,252	11,556
一般貸切旅客自動車運送事業	8,366	7,926	7,629
一般乗用旅客自動車運送事業	1,466	1,473	1,505
貨物自動車運送事業	186	201	201
自動車整備事業	440	461	530
旅客運送受託事業	4,229	4,213	4,278
その他	2,523	2,699	2,821
内部取引の消去	△ 1,845	△ 1,884	△ 1,917
不動産セグメント	26,612	33,461	35,648
分譲事業	10,672	14,856	15,497
賃貸事業	7,761	8,227	8,310
建築事業	4,753	5,725	5,965
環境エネルギー事業	1,128	2,165	3,214
仲介事業	1,058	1,098	1,141
その他	1,660	1,823	1,895
内部取引の消去	△ 422	△ 435	△ 376
流通セグメント	36,694	36,576	35,531
石油製品販売事業	12,165	11,247	12,051
生活用品販売事業	13,459	12,770	12,177
自動車販売事業	11,115	12,599	11,362
内部取引の消去	△ 46	△ 40	△ 59
レジャー・サービスセグメント	11,393	11,822	12,227
ビジネスホテル事業	2,949	3,330	3,857
旅館事業	2,255	2,942	3,049
ドライブイン事業	2,354	2,294	2,296
索道事業	675	634	604
ゴルフ場事業	583	444	424
旅行事業	1,295	957	840
自動車教習所事業	916	923	879
その他	367	296	277
内部取引の消去	△ 3	△ 0	△ 3
営業利益または営業損失	4,644	5,576	6,244
運輸セグメント	2,469	1,957	1,827
不動産セグメント	1,844	3,223	3,729
流通セグメント	262	△ 14	293
レジャー・サービスセグメント	△ 2	293	305
調整額	71	116	88
営業収益営業利益率 (%)	4.8	5.4	6.0
運輸セグメント (%)	9.2	7.4	6.9
不動産セグメント (%)	6.9	9.6	10.5
流通セグメント (%)	0.7	—	0.8
レジャー・サービスセグメント (%)	—	2.5	2.5

事業別の概要 (連結営業収益の セグメント別構成比)



※ 各事業の営業収益割合には、セグメント内の内部営業収益等が含まれています。

CSRへの考え方 / グループ基本理念 / 経営指針

三重交通グループのCSRへの考え方

三重交通グループは、経営指針に基づき、お客さまや地域社会の皆さまに安全・安心・安定・快適なサービスを提供するとともに、法令・企業倫理の遵守を重視した誠意ある経営を行います。

また、環境問題の重要性を認識し、企業活動による環境負荷の最小化に努め、持続的発展が可能な社会づくりに貢献します。

これらの取組みを通じて、企業の社会的責任を果たし、あらゆるステークホルダーの期待にお応えできるよう誠実に行動してまいります。

SDGsのアプローチ

2015年に国連サミットで採択されましたSDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) を受けて、当社グループとして社会的課題の解決に向けて取り組み、地域社会の持続可能な発展に貢献していきます。

SDGsとは?

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

SDGs(エスディーゼズ)とは、世界中のすべての人々が幸せに暮らすことができる社会をつくるために、国連サミットが決めた国際社会共通の目標のことで、2016年から2030年までの15年間で達成すべく17の目標と、169の具体的な行動目標で構成されています。貧困や不平等、気候変動などに対処しながら「誰一人取り残さない」社会をめざして、世界中でSDGsへの取組みが始まっています。

グループ基本理念

三重交通グループは、お客さまの豊かな暮らしと地域社会の発展に貢献します

グループ経営指針

- 1 お客さまのよろこびの追求**
“お客さまのよろこび”を追求し、新たな価値を提供します
- 2 地域社会への貢献**
価値ある事業を展開し、地域の発展に貢献します
- 3 絶えざる自己革新**
過去にとらわれず、常に未来に挑戦します
- 4 誠実な企業活動**
誠実な企業活動を行い、よき企業市民としての信頼を深めます
- 5 グループ総合力の発揮**
互いに協力・連携し、グループの総合力を発揮します
- 6 いきいきとした企業風土**
いきいきと働ける環境を築き上げ、社員の活力を高めます

コーポレート・ガバナンス

基本的な考え方

当社は、コーポレート・ガバナンスを企業経営上の重要課題のひとつとして認識しており、株主総会、取締役会、監査役会等の諸機関並びにその構成員が、法令に基づきそれぞれの役割を果たすことで、コーポレート・ガバナンスの充実に努めております。

持株会社である当社は、特定の事業を行わず、グループ経営に専念することにより全体の経営資源の効率的な配分と事業構造の最適化を図り、グループ全体の価値を高めることを目指しております。

グループの競争力強化と経営資源の効率化を図るため、

多様な事業を「戦略的事業単位」にくくり、それぞれの事業を強力に推進しております。また、グループ各社の財務、法務、広報・IR活動、その他重複する管理業務を漸次集約し、企業集団としての業務の効率化を図っております。

グループの協力・連携体制を強化し、企業集団として整合性のとれた戦略展開によって各種事業の相乗効果を一層高めてまいります。

地域企業としての事業基盤とネットワークを更に発展させ、地域社会に貢献できる企業グループとしての成長を目指してまいります。

三重交通グループホールディングス コーポレートガバナンス・ポリシー（一部抜粋）

当社は持続的な成長による中長期的な企業価値向上のため、「三重交通グループホールディングス コーポレートガバナンス・ポリシー」を制定しております。

第1章 総則

（目的）

第1条 三重交通グループホールディングス株式会社（以下「当社」という）は、当社グループの持続的な成長による中長期的な企業価値の向上を図るため「グループ基本理念」及び「グループ経営指針」に基づき、「三重交通グループホールディングス コーポレートガバナンス・ポリシー」（以下「本ポリシー」という）を制定し、コーポレートガバナンスの継続的な充実に取り組む。

（本ポリシーの位置付け）

第2条 本ポリシーは、会社法、関連法令及び定款を前提として、より実効性の高いコーポレートガバナンスを実現するための指針とする。

第2章 ステークホルダーとの関係

第4章 コーポレートガバナンスの体制

第3章 情報開示

第5章 その他

詳細はwebサイトをご覧ください

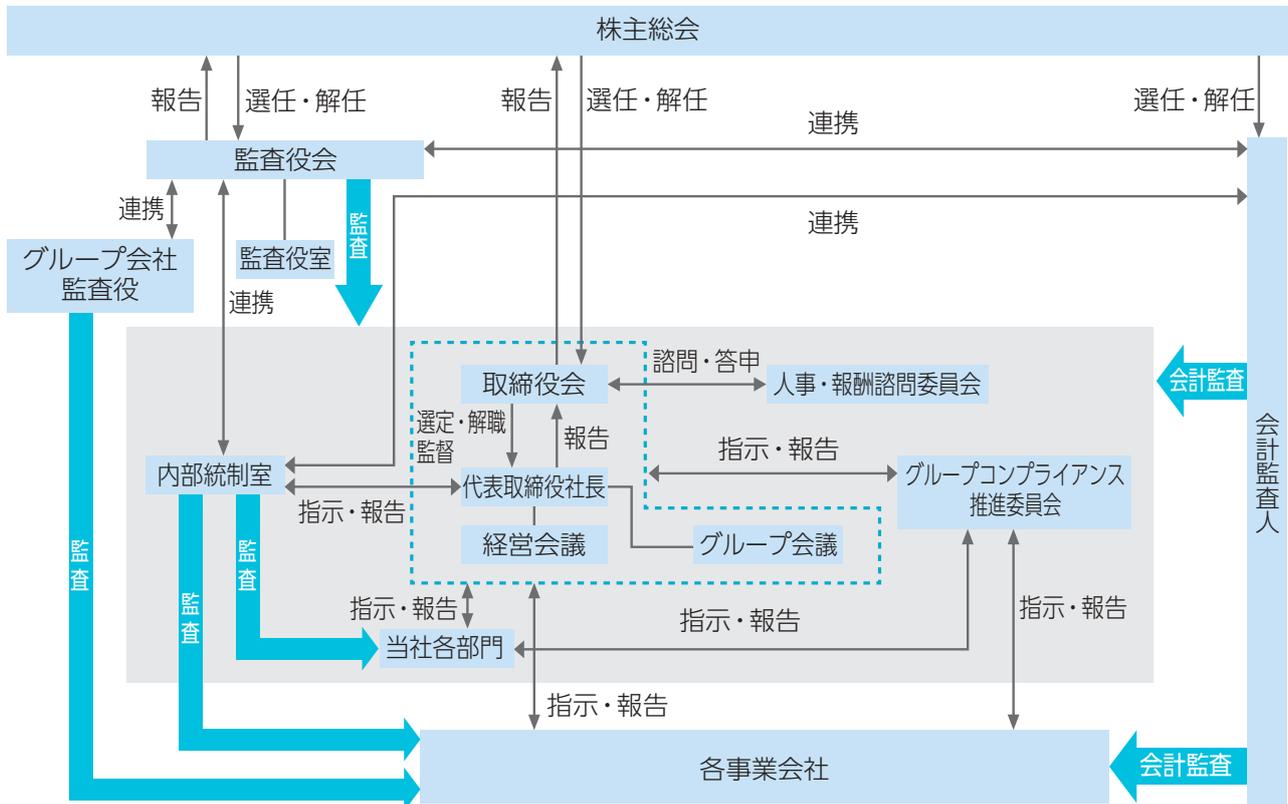
ガバナンス体制

当社は、「取締役会」を経営機構の中心に据え、当社グループの経営戦略及び重要な業務執行の意思決定並びに監督を行っております。さらに、経営戦略決定機能を強化し成長分野への事業シフトを迅速に進めるため、代表取締役、常勤取締役及び常勤監査役で構成する「経営会議」を月1回開催しております。また、取締役会の諮問機関として、「人事・報酬諮問委員会」を設置しており、取締役の指名及び報酬等について審議し、取締役会に対して答申及び助言を行うことで、手続きの客観性及び透明性を確保しております。その他、グループ

会社間の議論・意見交換・情報共有の場としての「グループ会議」を月1回開催するほか、「グループコンプライアンス推進委員会」、「情報セキュリティ委員会」等、各種委員会組織を設け、定期的又は必要に応じて委員会を開催しております。

また、当社は監査役制度を採用しており、監査役は、取締役会等、重要な会議に出席するほか、業務執行全般を厳正に監査しております。なお、常勤監査役は、取締役会、経営会議等、重要な会議にはすべて出席し、独立した視点から取締役の業務執行を細かく監視しております。

【コーポレート・ガバナンス体制】



内部統制システム

当社は、法令に基づき、取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを、確保するための体制、その他当社並びに三重交通グループ全体の業務の適性を確保する

ために必要な体制の整備について、基本方針を定めております。

詳細はwebサイトをご覧ください。

コーポレート・ガバナンス

コンプライアンス

コンプライアンス・ステートメント

これからの企業の存続・発展は、すべてのステークホルダー（お客様、地域社会、株主・投資家、取引先等）から好感を持たれること、適切な情報開示をモラルに秀でた透明性のある企業経営を指向すること、健全な経済成果を追求すること、これらのバランスを重視するという新たな

価値観、倫理観を確立することが必要となっておりまして。

そこで、新たな「価値観・倫理観」の共有のために、社員全員が分かりやすく理解できるような「グループコンプライアンス行動規範」を制定しました。

私たちは、自らの企業使命を自覚し、一丸となってコンプライアンスを確立しこれを遵守することをここに誓います。

グループコンプライアンス行動規範

この「グループコンプライアンス行動規範」は、業務遂行にあたり、法令及び社内規定の遵守はもとより、社会規範を尊重し、公正かつ適切な事業活動を行うための原則を示したものです。

- | | | |
|-----------------|----------------|---------------------|
| 1. 法令・社会規範の遵守 | 2. お客様からの信頼 | 3. 公正な事業活動 |
| 4. 適切な情報開示 | 5. 社会への貢献・責任 | 6. 環境問題への取組み |
| 7. 人権尊重・健全な職場環境 | 8. 情報、知的財産権の管理 | 9. コンプライアンス体制の推進・改善 |

リスク管理

グループリスク管理規程

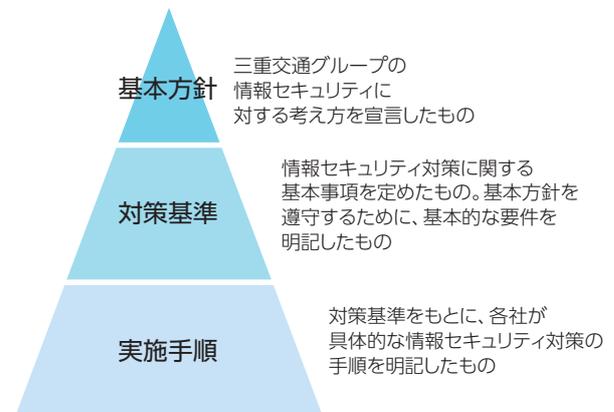
グループ各社において発生するリスクを適切に管理するための基本的方針を定めた「グループリスク管理規程」を制定しています。このリスク管理規程に基づき、グループに影響を与えるさまざまなリスクについて、適切に情報を把握し処理を行うことにより、これを未然に防止するとともに、万一発生した際の損害を最小限にとどめます。

三重交通グループ情報セキュリティポリシー

グループ各社が保有する情報資産に関するセキュリティ対策について、総合的、体系的かつ具体的な取り決めとして、普遍性を備えた「情報セキュリティ基本方針」と情報資産を取り巻く環境の変化に対応する「情報セキュリティ対策基準」の2階層に分け、それぞれ制定しています。

また、情報セキュリティポリシーに基づき、グループ各社において具体的な情報セキュリティ対策を定める「情報セキュリティ実施手順」を制定しています。

三重交通グループ情報セキュリティポリシー体系図



安全・安心への
取組み

自信と誇り。

安全・安心を心がけ
使命感を持って仕事に臨んでいます。



バス事業の取組み

三重交通グループは絶えず安全性の向上に努めて運輸事業を行う為、運輸安全マネジメントを導入し、取り組んでいます。ここでは、三重交通(株)及び名阪近鉄バス(株)における2017年度の取組み内容の一部を紹介します。なお、今回紹介します安全・安心を提供するための各種取組みは、グループ全てのバス会社にてそれぞれ実施しています。

三重交通(株)

名阪近鉄バス(株)

三交伊勢志摩交通(株)

三重急行自動車(株)

八風バス(株)

三重交通(株)

○社長方針

- 1.「無事故は使命」
- 2.「思いやりとプロの自覚」

○取組み事項

- 1.事業活動においては、お客様の安全確保を第一に考えます。
- 2.安全確保のため、日ごろから危険要因の排除に努め、安全に関する計画の策定、実行、チェック、改善(PDCA)を確実に実施します。
- 3.安全に関する教育、研修、訓練等を積極的に実施します。
- 4.常に安全意識を高く持ち、社会の変化に対応しつつ確固とした体制を構築し、法令遵守を徹底します。
- 5.事故、災害が発生した場合には、お客様の救護を最優先に行い、関係機関との連携を密にし、被害の拡大防止と早期復旧を図るとともに、輸送の安全に関する情報について積極的に公表いたします。
- 6.管理の受委託において、委託者及び受託者は相互に協力、連携して輸送の安全の向上に努めます。

2017年度の取組みについて (2017年4月～2018年3月)

- 1.輸送の安全に関する目標及び当該目標の達成状況
…2017年度有責事故総件数158件(軽微な事故含む)
(1)目標……有責事故 前期比33件削減(20.0%削減)
(2)結果……有責事故 前期比5件減(3.1%減)
- 2.自動車事故報告規則第2条に規定する事故
報告件数…8件(前期比1件増)
[内訳]……衝突事故……1件
重傷事故……1件
車内事故……1件
転覆事故……1件
健康起因……1件
車両火災……1件
車両故障……2件

事故防止対策委員会を開催 (安全マネジメントに関する会議体)

安全統括管理者を委員長とした社内及びグループ運輸会社管理者から構成される事故防止対策委員会を年5回開催し、「安全輸送とサービス向上運動」への取組みとともに事故防止の通年重点施策を策定しています。

【開催月：4月・7月・9月・12月・3月】



事故防止対策委員会

「安全輸送とサービス向上運動」の実施

事故防止と接客向上を目指して、春・夏・秋・年末年始の年4回「安全輸送とサービス向上運動」を実施しており、各運動期間終了後、運動期間中成績優秀な営業所について運動表彰規程に基づき社長表彰を行っています。



安全輸送表彰式

乗務員講習会の実施

年4回の「安全輸送とサービス向上運動」に合わせて、全乗務員を対象に事故防止と接客向上に向けた講習会を実施しています。(各営業所において営業所長及び運行管理者が年4回実施)

また、早急に取り組まなければならない事案に対しては、緊急の乗務員講習会を実施しています。

会社トップによる職場巡視の実施

社長、副社長及び安全統括管理者が、受託営業所ならびにグループ会社を含めた全営業所に対して職場巡視を実施し、取組み状況の確認と課題を把握するとともに安全意識の醸成のため、現場管理者との意見交換を行い、同時に乗務員との懇談会を実施し、意思の疎通と安全意識の向上を図っています。

- ①社長による職場巡視……年2回(7月～8月・12月)
- ②副社長による職場巡視……年2回(9月～10月・3月～5月)
- ③安全統括管理者による職場巡視については、社長及び副社長巡視時に同行するほか、必要に応じて営業所巡視を実施しました。



法令遵守に対する意識の向上

始業・中間及び終業点呼時、点呼執行者（運行管理者）の目視確認とともにアルコール検知器連動型免許証確認システムを活用し、飲酒運転ならびに運転免許証有効期限切れの防止に取り組んでいます。



点呼の風景

アルコールチェック

安全への投資（2017年度実績）

バスの運行管理を適切に維持し、安全性をより高めるために、バスの機能維持・向上の投資を行っています。

- ①乗合ノンステップバスの導入
- ②乗合ノンステップバス車両への車内補助ミラー増設
- ③AED蘇生装置の配置
- ④LEDヘッドライト・LED路肩灯への交換（視覚性向上の為）
- ⑤シートベルト着用案内放送装置の導入
- ⑥GPS機能搭載のIP無線に代替

危機管理並びにリスク管理体制の強化

乗務員講習会において、緊急時の対応マニュアルを周知するとともに、様々な異常時に対する研修、訓練を実施しています。

（2017年度主な訓練実績）

- ・「お伊勢さん菓子博2017」への対応
「お伊勢さん菓子博2017」輸送において、安全かつ円滑な輸送の完遂に向けて、輸送会議を実施しました。（延べ4回実施）
- ・2018年2月21日に三重県警察本部と合同で関係機関を含め、バスジャック発生時の危機管理体制の確認と速やかな対応を図るため、バスジャック訓練を実施しました。
- ・テロ対策巡回等の実施
- ・救急救命訓練の実施
消防等関係機関の指導により、AED等を使用した救急救命及び緊急時対応訓練を各観光6営業所で実施しました。



バスジャック訓練

健康管理の対策

安全に影響を及ぼす可能性のあるリスク要因の低減の為、健康管理対策を行っています。

- ①運転士に対して、年2回の定期健康診断（全運転士が実施）及び、診断結果の把握・面談と必要に応じた再検査等の指導
高齢運転士に対する安全対策の為、脳ドックの実施
- ②睡眠時無呼吸症候群（SAS）検査の実施
- ③飲酒運転防止対策
- ④ストレスチェックの実施（10月）

輸送の安全に関する教育・研修

バス事業において、社員一人一人の知識と経験がより安全に活かされるように、様々な教育・研修を行っています。

- ①社内研修の実施（統括運行管理者、運行管理者を対象に実施）
- ②社外研修の受講（独立行政法人自動車事故対策機構が実施する運転適性診断 一般診断（3年に一度の受診）400名（2017年度実績・グループ会社含む））
- ③運転士階層別研修の実施
- ④運転士キャリアアップ研修の実施（貸切バス乗務資格研修・中長距離高速路線バス乗務資格研修）
- ⑤事故・苦情等惹起者に対する教育の実施
- ⑥運転士補習教習の実施（疾病、その他の理由による非乗務運転士）
- ⑦専任添乗指導員による添乗指導の実施



区長・事業所長（統括運行管理者）研修

運行業務の適正化

- ①内部監査及び運行業務監査の実施
- ②運行業務点検の実施（年3回）

BCP（事業継続計画）の策定

災害などの緊急事態が発生した時に、損害を最小限に抑え、事業の継続や復旧を図るため、BCPを策定しています。

名阪近鉄バス(株)

○輸送の安全に関する基本的な方針 (名阪近鉄バス安全方針)

- 1.輸送の安全の確保が事業経営の根幹
- 2.安全輸送に関する関係法令等の遵守
- 3.安全マネジメント体制の継続的改善等の実施
「安全の確保」を最優先に、「めくもり・おもてなし」の心で接遇し、お客様に信頼され、選ばれるバス会社を目指します。

○取組み事項

- 1.「輸送の安全確保が最も重要である」という意識を徹底し、関係法令及び安全管理規程に定められた事項を遵守します。
- 2.輸送の安全に関する費用支出及び投資を積極的かつ効率的に行うよう努めます。
- 3.輸送の安全に関する内部監査を実施し、必要な是正・改善措置又は予防措置を講じます。
- 4.輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し、社内において必要な情報を伝達、共有します。
- 5.輸送の安全に関する教育及び研修に関する具体的な計画を作成し、これを的確に実施します。

2017年度の取組み結果 (2017年4月～2018年3月)

- 1.輸送の安全に関する目標及び当該目標の達成状況(当社基準)
 - (1)目標：重大事故ゼロ件・有責事故……24件以内
車両故障……10件以内
 - (2)結果：有責事故……45件
車両故障……23件
- 2.自動車事故報告規則第2条に規定する事故報告件数…4件(前年度比3件増)
[内訳]……重傷事故2件(第二当事者の事故を含む)
車両故障2件

所長・整備長の会議開催

- ・事故防止委員会(定例)・毎月1回開始し、年間12回開催しました。
- ・所属長会議(臨時)……年間4回開催しました。
【実施月：4月・10月・12月・1月】



事故防止委員会

運行管理者研修会の開催

- ・運行管理者及び運行管理補助者38名に対し、研修会を開催しました。
研修内容は労務管理・緊急時の対応方法及び感情コントロール・ストレスについて行いました。
【実施日：8月31日、9月12日・14日】

年間教育指導計画

- ・年間教育指導計画に基づき、月毎の指導項目について、乗務員に対し安全教育を実施しました。

ヒヤリ・ハット体験の収集

- ・8月をヒヤリ・ハット強化月間と定め、運転士からのヒヤリ・ハット情報を集計し、要注意地点を割り出しプロドライバーとしての対応を周知しました。

ドライブレコーダーの映像を活用した指導の実施

- ・全車両に装備したドライブレコーダーからヒヤリ・ハットや事故の映像記録を収集し、ヒヤリ・ハットや事故に至った原因及びそれに関する要因について分析を行い、再発防止策の構築に役立て、交通事故の防止に取組みました。

その他バス事業の取組み



飲酒運転の撲滅

- ・出勤時のアルコール検査の他、全運転士に個人用のアルコール検知器を貸与し、自宅を出勤する前にアルコール検査を行い自家用車においての飲酒運転の防止を図りました。

労務管理等の徹底

- ・運行管理システムを活用し、運転士の拘束時間・乗務時間・連続運転時間・走行距離・休憩時間等の管理を行いました。

また、運転士の労働時間等の改善基準を遵守する為、各営業所の労務担当責任者による会議を開催し、法令遵守に努める取組みについて検討を重ねました。

【勤怠責任者会議：9月・12月・3月】



監査・立合指導(名阪近鉄バス)

安全への投資(2017年度実績)

安全に関する投資を下記の通り行いました。

- ・乗務員教育訓練、講習会
- ・最先端の安全性を備えた新車導入
- ・モバイルアルコール検知器の校正
- ・個人貸与アルコール検知器の代替
- ・乗合バスLEDヘッドライト切り替え

大規模災害を想定した消防訓練の実施

三重交通(株) 名阪近鉄バス(株) 三交伊勢志摩交通(株)
三重急行自動車(株) 八風バス(株)

三重交通(株)は、2017年10月中日本高速道路(株)みえ川越基地にて高速自動車道路での災害を想定した「消防訓練」を行いました。この訓練は、高速自動車道路での大規模災害や特殊災害に対し、災害活動能力を高めることを目的に実施され、同社四日市営業所、北部観光営業所のほか、中日本高速道路(株)、消防機関、警察機関等が参加し、各機関での連携を確認しました。



消防訓練の様子(三重交通)

名阪近鉄バス(株)は、2017年9月、大垣市の浅中公園総合グラウンドにて、高速自動車道路での事故を想定した訓練が行われました。これは名神高速道路での多重事故の発生を想定した訓練で、大垣消防組合や県警高速隊、医療機関などから80人が参加し、各部隊との連携を確認しました。この訓練では名阪近鉄バスの車両が使用され、名阪近鉄バス(株)からは17名の乗務員が参加し、バスから動けなくなった人を運び出す手順やけが人への対応の確認を行いました。



消防訓練の様子(名阪近鉄バス)

スキーバス教習

[三重交通\(株\)](#)
[名阪近鉄バス\(株\)](#)
[三交伊勢志摩交通\(株\)](#)
[三重急行自動車\(株\)](#)
[八風バス\(株\)](#)

三重交通グループ各バス会社ではスキーバス教習を行っています。



スキーバス教習(三重交通)



スキーバス教習(名阪近鉄バス)

三重急行自動車(株)では、毎年冬季の厳寒地方及びスキー輸送に備えて、積雪・凍結路ならびに山間路線での輸送の安全を確保するため、現地確認と雪道に対するスキルアップを目的とした教習を実施しています。(2017年度は2018年1月16日～18日に実施)



チェーン脱着訓練の様子(三重急行自動車)

八風バス(株)では、2017年12月、「ダイナランド高鷲スノーパーク」にて冬山走行教習を実施しました。教習では、冬山の安全運行に対する運転士の自覚高揚と雪道走行の注意点について管理者より講習(2017年12月12日実施)を行い、実技においては、現地スキー場にて雪道走行体験とチェーンの脱着訓練を教官指導の下、実施しました。スキーに限らず雪道を走行する観光コースも多数存在しており、安全運行のために必要な教習の1つであると考え定期的に実施しています。



スキーバス教習の様子(八風バス)

SSS(スリーエス)乗務員認定制度

[名阪近鉄バス\(株\)](#)

名阪近鉄バス(株)は、乗務員の技能向上の一環として、SAFETY(安全)・SERVICE(おもてなし)・SKILL(技術)の3つの分野において優れた乗務員を認定する社内制度を設け、安心・安全にご乗車いただけるよう、より一層のサービス品質向上に取り組んでいます。



SSS乗務員

貸切バス事業者安全性評価認定制度 「3つ星」に継続認定

[三重交通\(株\)](#)
[三交伊勢志摩交通\(株\)](#)
[三重急行自動車\(株\)](#)
[八風バス\(株\)](#)

三重交通バスグループ4社(三重交通(株)、三交伊勢志摩交通(株)、三重急行自動車(株)、八風バス(株))は、2017年12月に公益社団法人日本バス協会の「貸切バス事業者安全性評価認定制度」において、最高ランク「3つ星」認定を継続取得しました。

当社グループバス各社においては、2011年度の認定取得後も安全確保に取り組み、2013年9月には「2つ星」を、2015年9月には安全への取り組みが評価・認定され、最高ランクである「3つ星」を取得しており、この度の申請においても、最高ランクの「3つ星」に認定されました。今後も、皆様に「安全、安心、安定、快適なサービス」にご利用いただけるよう、より一層の安全管理に取り組んでまいります。



評価認定制度のシンボルマーク

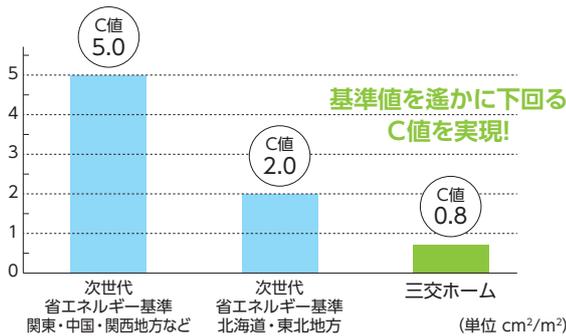
その他事業の取組み



品質へのこだわり

(株)三交不動産

三交不動産(株)では注文住宅全棟に対し、C値測定を実施しています。C値とは住宅の隙間係数を表し、気密性能を測る非常に重要な値ですが測定されることは珍しく、基準すら設定されていないケースも多い中、当社は建築を請け負った全ての住宅でC値測定を実施し、さらに自社基準に達しない場合は再施工する、という厳しいハードルを自らに課し、常に高水準の気密品質を実現しています。



「プライバシーマーク」を更新し、個人情報保護を徹底

(株)三交コミュニティ

(株)三交コミュニティは、三重県の管理会社として初めて取得した「プライバシーマーク」の登録を、2017年5月に更新しました。今後ともより一層お客様に信頼いただける会社を目指して事業活動に努めています。



プライバシーマーク登録証

災害時石油燃料の優先供給契約締結

(株)三重交通商事

三重交通商事(株)では、公共性の高い企業様と、災害時の石油燃料優先供給契約を締結し、災害時の社会インフラの維持に協力しています。

自動車サービス・部品技能コンテストを開催

(株)三重いすゞ自動車

三重いすゞ自動車(株)は、毎年社内サービス・部品技能コンテストを開催し、日頃の業務で身につけた知識・技術を競い合います。このような取組みで、社員一人一人が技術を向上させることにより、サービスに対する安全性を高めています。入賞した社員の中から、いすゞ自動車主催の中部支部コンテスト及び全国のコンテストへ出場します。

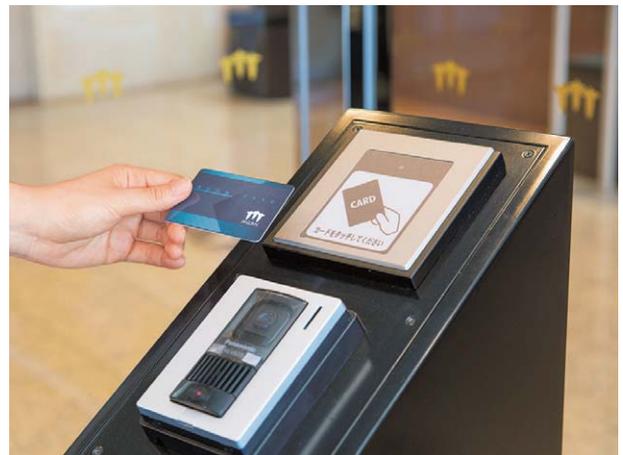


自動車サービス部品技能コンテストの様子

24時間対応フロントと安心のセキュリティー

(株)三交イン

(株)三交インでは、フロントの24時間対応により緊急時でも安心して宿泊していただけます。客室には、セキュリティーの高いカードキーを採用しています。深夜の入館時にもカードキーを利用していただくことで夜間の安全も確保しています。



カードによるセキュリティー

非常時に備えた訓練

(株)三交イン

(株)三交インでは、日頃から万が一に備え、点検や訓練を重ねるなど、さらなるお客様の安全に努めています。

2017年11月には三交イン伊勢市駅前にて、伊勢市消防本部からはしご車も加わった大規模な消防訓練も実施されました。



三交イン伊勢市駅前での消防訓練の様子

防火訓練実施

鳥羽シーサイドホテル(株)

鳥羽シーサイドホテル(株)は、2017年7月に防火訓練を実施しました。望館8階から出火したという想定で、鳥羽消防本部の指導の下、消防署への通報、館内への連絡、宿泊客の避難誘導といった一連の流れを訓練しました。最後に新入社員らが実際に消火器を使って消火訓練を行いました。



防火訓練の様子

一般救命講習受講

鳥羽シーサイドホテル(株)

鳥羽シーサイドホテル(株)は、2018年3月に鳥羽消防本部から講師を招き、救命講習を受講しました。14名がAEDの使用方法などを実際に器具や人形を用いて訓練しました。緊急時に備え、どの部門のスタッフでも初動対応に携われるよう今後も定期的を開催する予定です。



救命講習の様子

御在所ロープウェイにて救助訓練実施

御在所ロープウェイ(株)

御在所ロープウェイ(株)は、事故、災害等の緊急事態に備え、救助装置の取扱い、搬器からの降下訓練、登山道の確認等の救助訓練を実施しています。



救助訓練の様子

中部運輸局長から運転無事故表彰を受賞

御在所ロープウェイ(株)

御在所ロープウェイ(株)は2018年10月、2002年～2017年の15年間の索道の責任事故が皆無という功績が評価され、中部運輸局長より表彰されました。



運転無事故表彰記念

環境への 取組み

自然に寄り添う。

豊かな自然、歴史を
未来へ繋いでいきます。



御在所岳での植樹の様子

再生可能エネルギー



バス駐車場に太陽光パネルを設置

三重交通(株)

三重交通(株)は、四日市営業所・中勢営業所(津市)・伊賀営業所の3拠点において、バス駐車場(一部 普通車含む)に上屋及び太陽光発電設備を設置し、発電を行っています。

バス駐車場に太陽光発電設備を備えた上屋を設置することで、荒天時におけるバス点検などの作業環境の向上やバス車両における夏季の冷房負荷軽減・冬季の霜対策・塗装の保護ができ、また、上屋に照明を取り付けることで防犯面の強化を図っています。更に、再生可能エネルギーの利用普及につながることを期待しています。

	発電開始	上屋内駐車車両数	規模
四日市営業所	2017年6月	バス88両	457kW
中勢営業所	2017年9月	バス88両、 自家用普通車181両	811kW
伊賀営業所	2017年11月	バス50両、 自家用普通車36両	359kW



バス駐車場に設置した太陽光パネル付き上屋(津市:中勢営業所)

太陽光発電事業を推進

三交不動産(株)

三交不動産(株)では、「伊勢二見メガソーラー光の街」「津メガソーラー杜の街」「松阪山室メガソーラー」等、合計出力約75メガワットの発電所を運営し、太陽光発電を行っています。

この規模の発電所を1年間運転すると、約88,000,000kWhの電力を発電し、これは約24,400世帯分の電力量に相当します。

環境に優しいクリーンエネルギーへの取組み

近年の環境問題に対する関心の高まりにおいて、「再生可能エネルギー」は地球温暖化対策やエネルギー自給率向上などの観点から、石油等に代わるクリーンなエネルギーとして注目されており、東日本大震災に起因した福島第一原子力発電所の事故を背景に、その重要性は益々高まっています。また、政府の第5次エネルギー基本計画では再生可能エネルギーを主力電源とする方針が発表されました。

このような背景のもと、「再生可能エネルギー」の普及促進に貢献すべく、当事業の実現に向けて検討を重ねてまいりました。その第一号として三重県伊勢市二見町にて開発・分譲中の大型団地「光の街」隣接の事業用地にて、2013年4月に第一発電所の運転を開始致しました。以降も三重県を中心に約75メガワットの発電所が稼働しています。(2018年6月現在)

メンテナンスの取組み

三交不動産(株)は、稼働中の発電設備を原則自社で保守・保安していますが、2016年2月1日より一部業務をO&Mにて外部委託することで、緊急時の対応を速やかに行える体制作りを行いました。

昼夜、平日・休日を問わず発生する発電所でのトラブルを、電気主任技術者まかせにするのではなく、常にバックアップを用意しトラブルに備えています。

また、日々の点検業務における電気主任技術者の負担を軽減するため、2016年2月より「セグウェイ」の導入をいたしました。大規模な太陽光発電所内での移動や、太陽光パネルの点検業務において、従来の作業時間から約40%の削減を見込んでいます。

さらに「セグウェイ」と徒歩による点検作業を比較した場合、セグウェイ乗車時には視点が高くなることで視認性が向上し、見落としやすいパネル破損等の不具合発見の確実性を高める効果を見込んでおります。現在は、2台を導入し運用を行っています。

発電所一覧

発電所名	発電開始	所在	規模
① 伊勢二見メガソーラー光の街	2013年4月	三重県伊勢市二見町光の街	8,641.22kW (約8.64メガ)
② 紀北町海山ソーラー発電所	2013年9月	三重県北牟婁郡紀北町	592.00kW
③ 津メガソーラー杜の街	2013年11月	三重県津市河芸町杜の街	2,708.48kW (約2.70メガ)
④ ヤマダ電機鈴鹿店ソーラー発電所	2014年7月	三重県鈴鹿市南玉垣町	297.50kW
⑤ 志摩市阿児メガソーラー発電所	2014年8月	三重県志摩市阿児町	2,616.64kW (約2.61メガ)
⑥ 松阪山室メガソーラー発電所	2015年10月	三重県松阪市山室町	16,135.04kW (約16.13メガ)
⑦ 豊田ラッツソーラー発電所	2014年12月	愛知県豊田市東新町	353.60kW
⑧ 鈴鹿ラッツソーラー発電所	2015年2月	三重県鈴鹿市西條町	304.64kW
⑨ 伊勢通町ソーラー発電所	2015年2月	三重県伊勢市通町	295.68kW
⑩ 多気ソーラー第1発電所	2015年2月	三重県多気郡多気町	844.80kW
⑪ 鳥羽松尾ソーラー発電所	2015年6月	三重県鳥羽市松尾町	522.24kW
⑫ 松阪垣鼻ソーラー発電所	2015年8月	三重県松阪市垣鼻町	316.80kW
⑬ 亀山野村ソーラー発電所	2015年9月	三重県亀山市野村	576.64kW
⑭ 津 栗真町屋メガソーラー発電所	2015年10月	三重県津市栗真町屋町	4,540.80kW (約4.54メガ)
⑮ 志摩市磯部の矢ソーラー発電所	2016年4月	三重県志摩市磯部町	384.00kW
⑯ 志摩市磯部迫間ソーラー発電所	2016年4月	三重県志摩市磯部町	649.44kW

発電所名	発電開始	所在	規模
⑰ 松阪岡本メガソーラー発電所	2016年5月	三重県松阪市岡本町	1,515.36kW (約1.51メガ)
⑱ 南伊勢 神津佐メガソーラー第1発電所	2016年9月	三重県会郡南伊勢町	2,056.32kW (約2.05メガ)
⑲ 多気ソーラー第2発電所	2016年11月	三重県多気郡多気町	696.96kW
⑳ 多気メガソーラー第3発電所	2016年11月	三重県多気郡多気町	2,817.92kW (約2.81メガ)
㉑ 志摩市磯部穴川メガソーラー発電所	2017年2月	三重県志摩市磯部町	14,008.00kW (約14.00メガ)
㉒ 多気メガソーラー第4発電所	2017年12月	三重県多気郡多気町	1,142.40kW (約1.14メガ)
㉓ 志摩市阿児立神メガソーラー発電所	2017年12月	三重県志摩市阿児町	12,832.96kW (約12.83メガ)



多気メガソーラー第4発電所



志摩市阿児立神メガソーラー発電所

バス事業の取組み



グリーン経営認証の取得

三重交通(株)

三重交通(株)は、グリーン経営推進マニュアルに基づいて、一定のレベル以上の取組みを行っている事業者であるとして、名古屋・名古屋観光営業所、四日市・北部観光営業所、中勢・中部観光営業所の各営業所がグリーン経営認証を取得しています。



グリーン経営認証のロゴマーク

低炭素な街づくりのシンボル、電気バスの導入

三重交通(株)

三重交通(株)は、国、三重県、伊勢市が推進する「低炭素なまちづくり」の実現に向けた取組みとして、2014年3月よりポケットモンスター(ポケモン)で人気の「ピカチュウ」とでんきタイプのポケモンを施したデザインのバスを伊勢市内で運行しています。



電気バス
©2018 Pokémon. /Nintendo/Creatures Inc. /GAME FREAK inc.

路線バスにハイブリッドバスを導入

三重交通(株) 名阪近鉄バス(株)

三重交通(株)では、2013年10月より「ハイブリッドバス」を積極的に導入し運行しています。このバスはエンジンとモーターが効率よく働くパラレル式ハイブリッドシステムを搭載し、エネルギー効率の高い環境性能に優れた低公害車で、環境に優しい設計となっています。(導入実績 2013年度・中勢営業所5両 2016年度・伊勢営業所2両 2017年度・四日市営業所2両 2018年度・南紀営業所3両)

また、名阪近鉄バス(株)においても2014年度に若森営業所へ1両導入されています。



ハイブリッドバス(三重交通)



ハイブリッドバス(名阪近鉄バス)

その他環境にやさしいバスの導入

三重交通(株) 名阪近鉄バス(株) 三交伊勢志摩交通(株)

三重急行自動車(株) 八風バス(株)

三重交通グループでは、その他様々な低公害車を導入し、環境対策に積極的に取り組んでいます。

- アイドリングストップバス…排気ガスや燃料消費を抑制するために、バス停や信号待ち等で自動的にエンジンを停止させるアイドリングストップバスを採用しています。
- NOx(窒素酸化物)やPM(粒子状物質)の排出量がより少ない低排出ガス車(低排出ガス認定車)等、最新排出ガス規制適合車を積極的に導入しています。(平成27年度燃費基準15%向上達成車、「ポスト・ポスト新長期排出ガス規制」適合車等)



ロゴマーク(バス車両側面)

その他事業の取組み



環境定期券制度の実施

三重交通(株) 三交伊勢志摩交通(株) 三重急行自動車(株)
八風バス(株)

三重交通グループでは、環境定期券制度を実施しています。環境定期券とは、普段定期券でバスをご利用いただくお客様が、土曜・休日に定期券区間外へレジャーやショッピングにお出かけの際、運賃を通常の半額でバスをご利用いただくことでマイカー使用を少しでも減らし、バスの利用促進を図ろうとする制度です。この制度により、市中心部の交通渋滞の緩和や排気ガスの抑制などを図り、環境保全に努めています。

「みえ環境フェア2017」に参加

三重交通(株) 三交不動産(株)

三重交通(株)と三交不動産(株)は2017年12月、三重県地球温暖化防止活動推進センターが主催する「みえ環境フェア2017」に参加しました。イベントでは、同センター長朴恵淑氏と三重交通(株)社長雲井との対談による「乗り物から始めるエコライフ」をテーマとする環境トークが行われ、公共交通機関と自家用車の二酸化炭素排出量の違いや、バスの利用促進について話されました。また、三重交通(株)によるハイブリッドバスの展示や、三交不動産(株)の環境活動「カーボン・オフセット」等の紹介がされました。



展示したハイブリッドバス



「環境トーク」の様子

ZEH住宅への取組み

三交不動産(株)

三交不動産(株)では、ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)登録ビルダーとして、ZEH住宅の普及に積極的に取り組んでいます。注文住宅標準仕様の外断熱工法は、ZEHの断熱基準にもしっかりと対応した省エネ・エコ住宅です。政府が定めている「エネルギー基本計画」に基づき、2020年度までには建設する住宅のうち、ZEH住宅が占める割合を50%以上とする事業目標を掲げて、普及拡大に努めています。



ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス ロゴ

地球環境について学べる教室の開催

三交不動産(株)

三交不動産(株)では、「伊勢二見メガソーラー光の街」「津メガソーラー杜の街」において、太陽光発電を通じ地球の環境問題について、映像やパネル展示で分かりやすく学ぶことができます。また、実際の太陽光発電施設を間近で見学でき、三重県の次世代エネルギーパークに登録しているため、地元の方だけでなく遠方からも見学者が訪れます。



地球環境について学べる教室の様子

カーボンオフセットへの取組み

三交不動産(株)

三交不動産(株)では、2010年に三重県大台町のプロジェクト「三重県大台町宮川流域における持続可能な森林管理プロジェクト」に参画し、中部地方の企業として比較的早い時期にカーボン・オフセットに取組み現在も継続しています。(中部カーボン・オフセット推進ネットワーク主催「中部カーボン・オフセット大賞」において「パイオニア賞」を受賞(2015年2月))

事業場の廃棄物対策を推進

(株)三重いすゞ自動車(株)

三重いすゞ自動車(株)では、毎年担当者が各拠点を訪問し、廃棄物及び油脂等の汚染対策に取り組み、環境にやさしい事業場づくりを目指しています。

省資源化への取り組み

(株)三交イン

(株)三交インでは、「楽しくECOを考えます」のスローガンのもと、客室へアメニティグッズは準備せず、フロントで「必要なものだけ」を自由に選べる「アメニティBAR」を用意しています。また連泊されるお客様に対し、ご希望があれば、「清掃不要」を手軽に宣言いただけるよう、マグネットステッカーを用意しています。



「清掃不要」の
マグネットステッカー

アメニティBAR

植樹活動の実施

御在所ロープウェイ(株)

御在所ロープウェイ(株)は、企業が社会貢献事業の一環として実施している御在所岳山上公園での植樹に協力しています。



植樹活動の様子

エコドライブ チャレンジバトル会場提供

(株)三交ドライビングスクール

四日市自動車学校では、毎年環境に配慮した運転方法(エコドライブ)のチャレンジバトルの会場を提供し、エコドライブ指導員として当校指導員も参加協力しています。この協力により燃費改善や安全運転につながるエコドライバーの育成に貢献しています。



エコチャレンジバトルの様子

第10回 大垣市 ハナハス祭り

ミドリサービス(株)

ミドリサービス(株)は、2018年7月に大垣市主催で開催されたハナハス祭りに参加しました。ハナハス祭りは80種800鉢のハナハスを楽しむ事ができるイベントで、今年で10回目を迎えることができ、多数の来場者で賑わいました。

イベントは、花飾り講習会、ハナハスの販売、ハスを使用した食品の試食、おもちゃすくい等、お子様からご年輩の方まで楽しんでもらえる内容で、当社はこのようなイベントを通じて市民の皆様が自然に触れ合い、その良さを感じてもらうため、様々な形で協力しています。



ハナハス祭り

社会への
取組み

地域社会を支える。

人と人の絆を大切にして、
地域社会を支え続けます。



乗合バス車内

インバウンド(訪日外国人観光客)への取組み

JNTO(日本政府観光局)が発表している2017年の訪日外国人観光客の数は、前年比19.3%増の約2,869万1千人で、5年連続で過去最高を更新しました。政府は訪日客を2020年に4千万人、2030年には6千万人に増やす目標を掲げていますが、その増加とともに、サービスに関する国内のインフラ整備など課題も多く残っています。

三重交通グループでは、訪れた外国人の方々に快適に過ごしていただく為の環境整備や、地域の魅力を発信するための様々な取組みを行っています。



外国クルーズ船寄港による観光客の輸送 三重交通(株) 名阪近鉄バス(株)

数年前より名古屋港にも就航していた「ダイヤモンド・プリンセス」をはじめとした外国クルーズ船が、2018年には四日市港をはじめとする三重県内にも寄港を開始しました。三重交通(株)や名阪近鉄バス(株)は、駅までの送迎や東海地区の観光地へのオプションツアーの輸送を行い、地域とともにおもてなしの一助を担っています。

誘客活動

三重県共催 台湾最大旅行会社グループの招請

三重交通グループホールディングス(株)

三重交通グループホールディングス(株)は訪日外国人観光客の三重県への誘致活動を推進しており、2017年9月、三重県と連携して、台湾旅行業界最大手である「ライオングループ」(雄獅集団)を招請し、県内の観光地および当社グループ施設等を視察する下見招待旅行を実施し、伊勢神宮や伊賀流忍者博物館、御在所ロープウェイなどを視察していただきました。



御在所ロープウェイ視察
(台湾旅行業界最大手「ライオングループ」)

また、同月、県内のゴルフ場を観光資源に活用すべく台湾のゴルフ専門大手旅行会社「Cash Golf」を招請し、当社グループの松阪カントリークラブや県内のゴルフ場、その他観光施設等を視察する下見招待旅行を実施しました。



松阪カントリークラブ視察
(台湾ゴルフ専門大手旅行会社「Cash Golf」)

台湾・猫空(マオコン)ロープウェイと 友好協定締結

御在所ロープウェイ(株)

御在所ロープウェイ(株)は、台湾で最長の路線をもつ猫空(マオコン)ロープウェイと認知度向上、相互誘客を目的に、2018年5月、双方にとって初となる友好協定を締結しました。

相互誘客の取組みとして、お互いのポスターやパンフレットを設置し、そのパンフレットを持参すれば割引サービスを受ける事ができます。今後は、三重県と台北市との観光交流の架け橋となるように、相互PRなどを通して友好関係を深めてまいります。



猫空ロープウェイとの調印式の様子



外国語表記の充実

三重交通グループでは、多くの場所で外国語表記の充実を図っています。



三重交通(株)

バス車内運賃表示器の多言語化(2017年4月)
(日本語・英語・中国語・韓国語・ひらがな表記)



三重交通(株)

バス停リニューアル(2016年春)
(日本語・英語・ひらがな表記+ピクトグラム(案内用図記号))



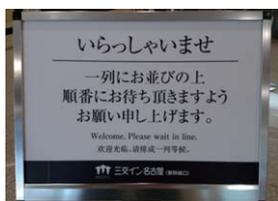
(株)三交クリエイティブ・ライフ

東急ハンズANNEX店フロアパネル
(日本語・英語・中国語(北京語・広東語))



三交興業(株)

名阪関ドライブインフードコート内に外国語表記の券売機を設置(2018年5月)
(日本語・英語・中国語・韓国語)



(株)三交イン

館内表示
(日本語・英語・中国語)

その他の取組み

インバウンド向けバスの導入

名阪近鉄バス(株)

名阪近鉄バス(株)は、主に訪日外国人観光客などの団体客に対応するため、大型ラゲージスペースやWi-Fi搭載、USBポートを設置した中型バス「ポーター」を2017年4月に導入し、利便性向上に努めています。



ポーター

セントレア京都線運行開始

名阪近鉄バス(株)

名阪近鉄バス(株)は、2018年2月に中部国際空港「セントレア」から京都駅八条口を結ぶ、「セントレア京都線」の運行を開始し、国際的に人気のある京都と中部の観光地を結ぶ周遊ルートを設定しました。
※Wi-Fi、USBポート有



セントレア京都線出発式

バス車内のフリーWi-Fiサービス利用路線を拡大

三重交通(株)

三重交通(株)では、2018年4月より、訪日外国人観光客をはじめとするお客様の利便性向上を目的として既に4路線のバス車内に導入している無料の公衆無線LANサービス「MieKotsu Free Wi-Fi」の利用路線を8路線追加し、全12路線に拡大しました。また、三重県が推進する公衆無線LAN事業「FreeWiFi-MIE」、およびエヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム株式会社が提供する認証アプリ「Japan Connected-free Wi-Fi」もご利用いただけます。



Free Wi-Fiステッカー

キャッシュレスへの対応

(株)三交クリエイティブ・ライフ

東急ハンズ名古屋店、東急ハンズANNEX店では、中国で多く使われているアリペイやWeChat PayによるQRコードを使った決済手段を取り入れ、利便性向上に努めています。



アリペイロゴマーク



WeChat Payロゴマーク

お客様のために-1



バリアフリーバスの導入

- 三重交通(株)
- 名阪近鉄バス(株)
- 三交伊勢志摩交通(株)
- 三重急行自動車(株)
- 八風バス(株)

三重交通グループバス会社5社では、高齢化社会、福祉社会といわれる中、「人にやさしいバス」として、お年寄りや障がい者の方、お子様にも乗降しやすいノンステップバスや、車いす対応バス、リフト付観光バスを積極的に導入しています。



ノンステップバス(スロープ)



車いす対応バス



リフト付観光バス

バリアフリー対策の推進

- (株)三交イン

(株)三交インでは、ご高齢や障がいを持つお客様に安心してホテルでの滞在をお楽しみいただくための取組みを進めています。

8ホテルでユニバーサルルームの提供やシャワーチェアの設置をしているほか、全ホテルで車椅子ご利用のお客様のスムーズな移動のためホテル出入り口のスロープ化、車椅子の貸し出しなどバリアフリー対策を推進しています。



シャワーチェア



ユニバーサルルーム

「シルバーエミカ」の利用開始

- 三重交通(株)
- 三交伊勢志摩交通(株)
- 三重急行自動車(株)
- 八風バス(株)

三重交通グループバス会社4社(三重交通(株)、三交伊勢志摩交通(株)、三重急行自動車(株)、八風バス(株))は2017年9月より、津市と連携して「津市高齢者外出支援事業」に取り組み、「シルバーエミカ」の利用を開始しました。

「シルバーエミカ」は津市が作成した交通系ICカードで、津市内に在住の65歳以上の方を対象に、マイナンバーカード提示による申請で無償交付するカードです。このカードには、津市により三重交通グループの4社路線バスで利用できる乗車ポイント2,000円分が付与され、さらに津市内コミュニティバスにはシルバーエミカ提示により無償で乗車いただけます。事業初年度である2017年度の交付枚数は5,788枚で、2018年度以降も継続して交付を行っています。



シルバーエミカ

(※2017年度に「シルバーエミカ」の交付を受けた方には、2,000ポイントを上限に前年度の使用ポイントに応じた乗車ポイントの再付与が行われます。)

運転免許返納割引の拡充

三重交通(株) 名阪近鉄バス(株) 三交伊勢志摩交通(株)
三重急行自動車(株) 八風バス(株)

三重交通グループバス会社4社(三重交通(株)、三交伊勢志摩交通(株)、三重急行自動車(株)、八風バス(株))では、2017年3月より運転免許返納者を対象としたバス運賃割引制度を拡充しました。(制度の内容:下記①、②、③)

また、名阪近鉄バス(株)においても2017年10月より同制度を実施しています。(制度の内容:下記①)

<割引制度の内容(運転経歴証明書の提示が必要)>

- ①本人及び同伴者1名のバス運賃が1乗車毎に半額(他割引と併用不可)
- ②フリー定期券「セーフティーパス」の購入が可能
- ③本人及び同伴者1名のバスツアー商品「三交パルック」「三交バスハイク」の旅行代金が5%割引



フリー定期券「セーフティーパス(1ヵ月間)」見本

ヘルプマークの啓発

三重交通(株) 名阪近鉄バス(株) 三交伊勢志摩交通(株)
三重急行自動車(株) 八風バス(株)

三重交通グループバス会社4社(三重交通(株)、三交伊勢志摩交通(株)、三重急行自動車(株)、八風バス(株))は、2018年2月より三重県バス協会の協力のもと、外見からはわからない障がいや病気の方への配慮や援助の必要を周囲に知らせる「ヘルプマーク」のステッカーを各路線バスのバス車内の優先座席付近に貼付し、啓発を行っています。また、名阪近鉄バス(株)は岐阜県からの要請により2017年7月から順次ヘルプマークの貼付、ポスターの掲示を行っています。



ヘルプマークをバスに貼付

ヘルプマーク

「バスの日」利用促進イベント実施

三重交通(株) 名阪近鉄バス(株) 三交伊勢志摩交通(株)
三重急行自動車(株) 八風バス(株)

三重交通グループバス会社では、毎年9月20日の「バスの日」を記念してバスの利用促進PR活動を行っています。

2017年は各バス会社が三重県内の主要駅(津駅、四日市駅など)や、名古屋駅、大垣駅周辺で日本バス協会のキャラクターがあしらわれたグッズの配布を行う等、バスの利用促進を呼び掛けました。



バスの日のPR活動

大垣市のりものフェア

名阪近鉄バス(株)

名阪近鉄バス(株)は、大垣市元気ハツラツ市にて行われる「大垣市のりものフェア」において、バス車両の展示や乗車体験、乗り方教室、子どもなりきり運転士等、バスへの親しみと理解を深める体験型イベントを行っています。



元気ハツラツ市での車いす乗車体験

産業観光バスツアーの実施

名阪近鉄旅行(株)

名阪近鉄旅行(株)は、地元中部圏における企業や産業の魅力や歴史を楽しく学べる「産業観光バスツアー」を実施しています。コースでは、生活を支える「ものづくり」の重要性を啓発したり、文化的側面からの産業振興等社会的意義のある観光先を取り入れ、年間800名以上が参加しています。



産業観光バスツアーの様子

バスロケーションシステムの導入

三重交通(株)

三重交通(株)では、無線通信やGPSなどを利用してバスの位置情報をリアルタイムに確認できる「バスロケーションシステム」を津・四日市・鈴鹿・亀山地区に導入しています。このシステムにより、交通渋滞等による道路混雑や天候により遅れが出ている場合などに、バスの位置情報をすぐにご確認いただけます。



バスロケーションシステム(スマートフォン画面)

お客様に感動をもたらす「PERFECTサービス」の追求

三重県観光開発(株)

三重県観光開発(株)は、「おもてなしの心で、お客様に感動していただくことが私たちの使命であり喜びです」というコーポレートメッセージを掲げ、「PERFECTサービス」の追求をコンセプトに日々お客様に感動を与える接客を心掛けています。結果、外部調査団によるCS調査において、亀山パーキングエリア上下線の2店舗が最高ランク評価であるSSを獲得、残る店舗も全てA評価以上となり、お客様からも多くのお褒めの言葉をいただいています。



安濃SA(上り線)での接客の様子

バスロケーションシステム「知らせてビューア」導入

(株)三交ドライビングスクール

名四自動車学校は、2017年9月よりスクールバスロケーションシステム「知らせてビューア」を導入しました。これにより、お客様(教習生)を送迎するためのスクールバスが、天候不良や道路渋滞等により遅れていても今どの辺を走っているのか位置情報をスマホアプリで確認できるようになり、お客様に対する不安解消を図るとともに利便性向上に努めています。



バスロケーションシステム「知らせてビューア」

「おもてなし規格認証2018」紅認証

(株)三交イン

(株)三交インは、国内サービス産業事業社のサービス品質を「見える化」するため経済産業省が創設した「おもてなし規格認証2018」の紅認証に全ホテルを登録しています。



「おもてなし規格認証 2018」紅認証

株主・投資家の皆様のために

16 平和と公正を
すべての人に



ホームページで情報開示

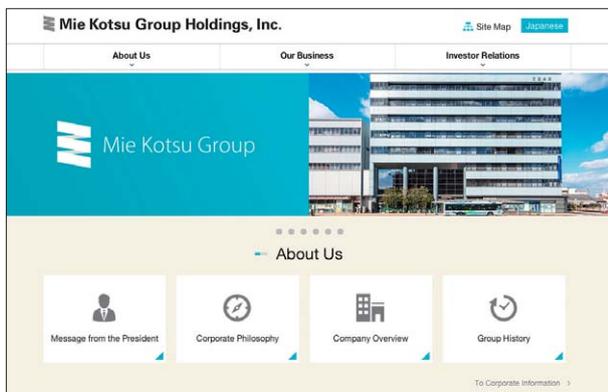
三重交通グループホールディングス(株)

三重交通グループでは、法令などに基づき、必要な情報を適時開示しています。2017年11月に三重交通グループホールディングス(株)ホームページをリニューアルし、IR情報や決算短信、有価証券報告書等をより一層詳しく迅速に公開するよう努めています。

また、グループの最新ニュースをホームページ内で紹介したり、英語サイトもあり、外国人投資家の方々へも分かりやすく情報を公開しています。



三重交通グループホールディングス(株)ホームページ/日本語サイト



三重交通グループホールディングス(株)ホームページ/英語サイト

株主総会

三重交通グループホールディングス(株)

毎年多数の株主の皆様にご出席いただき、1年間の事業内容を映像やナレーションを用いて分かりやすく説明しています。2018年度は6月21日に津市センターパレスホールで開催し、188名の株主様にご出席いただきました。

(2017年度実績:6月23日同場所にて開催、株主様202名出席)

名証IRエキスポに出展

三重交通グループホールディングス(株)

三重交通グループホールディングス(株)は、名証IRエキスポにIR活動の一環として企業ブースを出展しています。2018年は7月20日～21日の2日間名古屋市吹上ホールにて開催され、当社が行ったミニ説明会では毎回賑わいをみせました。(2017年は7月21日～22日に同場所にて開催)



名証IR EXPO2018出展



名証IR
株主優待コーナー

機関投資家向け決算説明会

三重交通グループホールディングス(株)

三重交通グループホールディングス(株)は、2014年度決算より毎年2回、東京にて機関投資家向けに決算説明会を行っています。当社経営者が、決算概要や業績予想、中期経営計画の進捗を説明し質疑応答の時間を設け、投資家との建設的な対話を行っています。

開催実績

2017年度 第2四半期: [開催日] 2017年11月21日

[場所] 東京アーバンネット大手町ビル

通期 : [開催日] 2018年5月29日

[場所] 東京アーバンネット大手町ビル

安全・安心への取組み

環境への取組み

社会への取組み

従業員のために

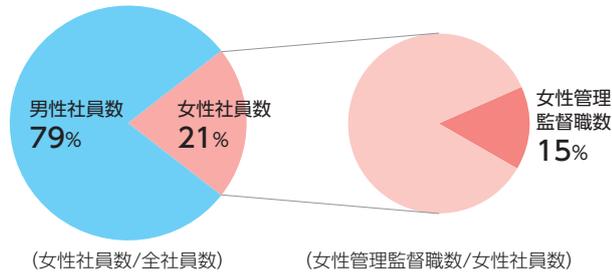


女性活躍推進

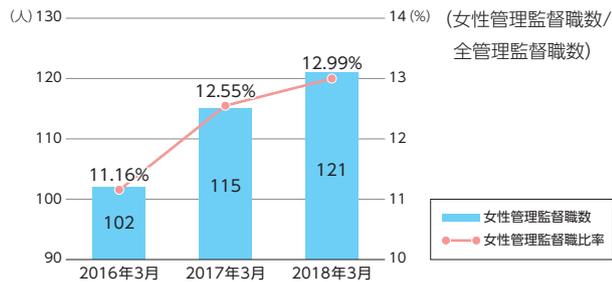
三重交通グループ

三重交通グループは女性活躍推進法に基づき、女性比率の拡大や職場環境の整備等をはじめとした行動計画を2016年4月に策定しました。当社グループでは、キャリアアップを目的とした女性社員研修の開催や、女性を対象とした運転体験付き会社説明会の開催などに取り組んでいます。性別にかかわらず、本人の能力・適性などを公正に評価し、今後も女性社員の積極的な育成・登用を継続していきます。

■女性管理監督職割合(2018年3月)



■女性管理監督職比率



女性運転体験会の様子

子育て支援

三重交通グループ

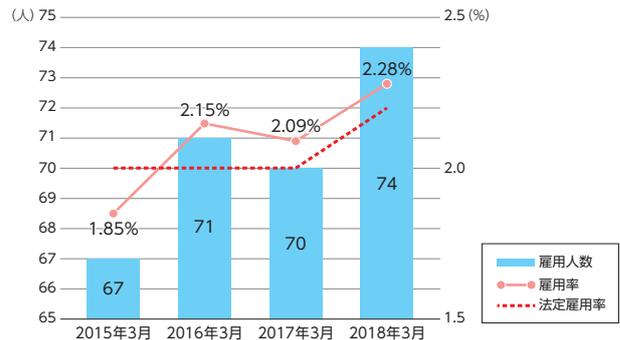
三重交通グループでは、人材の多様化への対応の一つとして、「子育て支援」にも取り組んでいます。具体的には、家族手当の支給額見直し、保育施設の企業優先枠の確保、育児休業制度の改正等を実施しており、男女共に活躍し、いきいきと働ける職場環境づくりに取り組んでいます。この結果、三重交通においては2017年に三重県より「みえの働き方改革推進企業」認証を取得いたしました。

障がい者雇用推進

三重交通グループ

グループ全体(2018年3月末現在)で、74名を雇用し、障がい者雇用率は前年を上回る2.28%であり、2018年度から新たに制定された法定雇用率(2.2%)を上回っております。障がい者はもとより、女性・高齢者・若年者等、多様な人材の一人ひとりがその能力を存分に発揮できるような就労環境を整えつつ、今後も全社を挙げて雇用促進を図っていきます。

■障がい者雇用率



外国人労働者の雇用推進

三重交通グループ

三重交通グループでは、多様な人材の活用を行っており、外国人労働者の受入れも積極的に行っています。

2018年6月現在に外国人労働者の受入れを実施している会社は以下の通りです。

名阪近鉄バス(正社員1名)、三重いすゞ自動車(正社員4名・派遣2名)、鳥羽シーサイドホテル(正社員1名、派遣2名、パート1名、インターンシップ4名)、三交興業(インターンシップ2名)、名阪近鉄旅行(正社員1名)。

働き方改革

三重交通グループ

三重交通グループでは、社員の心身の健康確保とワークライフバランスを推進し、長時間労働の抑制と年次有給休暇の取得促進に取り組んでいます。各社の実情に合わせ、ノー残業デーや時間単位の年次有給休暇取得、連続休暇の取得促進等を行うことで、労働時間の削減や年次有給休暇の取得率向上を目指しています。

地域のために-1

3 すべての人に 健康と福祉を	4 質の高い教育を みんなに	8 働きがいも 経済成長も	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任
------------------------------	-----------------------------	----------------------------	--------------------------------	-----------------------------

人材育成

三重交通グループ

入社後、新入社員研修や、階層別、職種別研修などの各種研修のほか、資格取得支援制度や自己啓発通信教育制度の導入など、積極的に人材育成に取り組んでいます。また、社内では得ることのできない知識やノウハウの習得のため、多くの若手社員がグループ会社や、県などの社外機関への出向を経験しています。この経験が、柔軟で、情報力と行動力ある人材の育成に大きな効果を上げています。



新入社員フォローアップ研修

バスの乗り方教室を開催

三重交通(株)

三重交通(株)は、園児、小学生とその保護者を対象に、バスの乗り方教室(行先表示の見方、バス乗降の仕方や車いすの乗車体験など)を随時開催しています。その他、運転士の点呼風景の見学、洗車体験の実施、整備工場の見学など、普段体験できないバスとのつながりを体験していただいています。

また、高齢者を対象にした教室も随時開催しており、バスに安全に乗っていただく為の適切な利用方法を、体験を交えながら学んでいただいています。

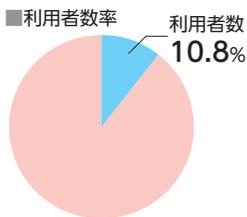


バスの乗り方教室での講習会

ワークライフバランスの推進

三重交通(株)

三重交通(株)では、「夏の生活スタイル変革」として、夏期の柔軟な出退勤を可能にする「ゆう活」を2018年7・8月に初めて実施しました。今後も、各人の生活スタイルに応じた働き方改革の推進を図ることで、時間外労働の削減・仕事とプライベートの両立ができる職場づくりに取り組んでいきます。



愛知県ファミリー・フレンドリー企業に登録

名阪近鉄バス(株)

名阪近鉄バス(株)は、社員のワークライフ・バランスに取り組む企業として、2016年から「愛知県ファミリー・フレンドリー企業」に登録されています。仕事と生活の両立ができるよう制度の整備や研修等を行っています。



愛知県ファミリー・フレンドリー企業登録証

従業員の資格取得をサポート

(株)三交ドライビングスクール

(株)三交ドライビングスクールでは、従業員の資格取得のサポートとして、様々な車種の運転免許取得のため車両やコースの貸し出し、既得免許者を指導に充てる等、支援をしています。また、免許取得後は免許取得時同様に当該車種の教習指導員資格、技能検定員資格の取得も併せて支援をしています。



バスの乗り方教室の様子

安全・安心への取り組み

環境への取り組み

社会への取り組み

シートベルト着用の呼びかけ

- 三重交通(株)
- 三交伊勢志摩交通(株)
- 三重急行自動車(株)
- 八風バス(株)

三重交通(株)、三交伊勢志摩交通(株)、八風バス(株)は、三重県警とバス協会の協力のもと、2017年9月より、回送時バスの方向幕(行先表示部分)に交通安全啓発の標語「シートベルト着用していますか」を表示する取組みを開始しました。これは、県内乗用車のシートベルト着用率を増やし、少しでも事故の軽減につながるよう啓発する取組みであり、三重交通グループをはじめとする県内4社のバス会社により実施されています。
(三重急行自動車(株)は2018年10月より開始)



三重県警での出発式の様子

FC岐阜にチームバス寄贈

- 名阪近鉄バス(株)

名阪近鉄バス(株)は、2018年2月26日、地元岐阜県のサッカーJ2リーグ「FC岐阜」を応援するべく、選手が使用する新チームバスを寄贈しました。当日岐阜市スポーツ交流センターにて行われた贈呈式では、デザインを一新したバスを前にFC岐阜の首脳陣や選手の代表にリーグ戦での活躍を願い、エールを送りました。



FC岐阜にチームバス寄贈

ヴィアティン三重とスポンサー契約

- 三交不動産(株)

三交不動産(株)は、2017年7月に三重県内で唯一バレーボールVリーグに加盟している「ヴィアティン三重」とスポンサー契約を締結しました。三重県内で幅広く活躍する「ヴィアティン三重」とスポーツを通じて、地域振興に努めています。



スポンサー契約の会見の様子(2017年11月)

ネーミングライツでスポーツ振興に貢献

- 三重交通グループホールディングス(株)

三重交通グループホールディングス(株)は、社会貢献の一環として2014年10月より「三重県鈴鹿スポーツガーデン(鈴鹿市)」と「三重県営総合競技場(伊勢市)」のネーミングライツ(命名権)を取得しています。両施設は「三重交通Gスポーツの杜 鈴鹿・伊勢」として現在運営されており、スポーツ振興のための事業や施設の維持管理に貢献しています。



三重交通G
スポーツの杜 鈴鹿



三重交通G
スポーツの杜 伊勢

太陽の街「ガスお客様感謝祭」開催

三重交通商事(株)

三重交通商事(株)の液化ガス事業部門では、毎年、春(5月頃)と秋(10月頃)に鈴鹿市の太陽の街団地内において、日頃のご利用を感謝して、イベントを開催しています。記念品を来場者全員に進呈したり、ビンゴゲーム大会を楽しんでもらったりしてお客様とのコミュニケーションを深めています。



太陽の街ガスお客様感謝祭

鈴鹿サーキット「働くクルマ大集合!!」へ出展

三重いすゞ自動車(株)

三重いすゞ自動車(株)は、2017年5月3日～6日の4日間、鈴鹿サーキットにおいて開催された「働くクルマ大集合!!」に今年も出展しました。東京モーターショー2017に出展された6×6(シックス・バイ・シックス)他計6台の車両を展示し、恒例の乗車体験も大変好評でした。また、今年は国際レーシングコースを展示車両で走行するイベントも実施され、4台が出走し華を添えました。



鈴鹿サーキット「働くクルマ大集合!!」会場風景

松阪工業高等学校へ寄贈

三重いすゞ自動車(株)

三重いすゞ自動車(株)は、2017年9月11日に三重県立松阪工業高等学校へ、中型トラックのエンジン1基と小型トラック1台を寄贈しました。

エンジンの仕組みや、車両の構造などを学んでもらうための教材として、より多くの生徒さんに興味を持ってもらえるように寄贈しました。



松阪工業高等学校へ寄贈したトラックとエンジン

津高等技術学校へ寄贈

三重いすゞ自動車(株)

三重いすゞ自動車(株)は、2017年9月28日に三重県立津高等技術学校へトラックの排気ガス浄化装置の仕組みを学ぶ教材として尿素SCRシステム実習装置を寄贈しました。

多数の部品で構成されている排気ガス浄化装置は、内部構成を全体的に目にすることはほとんどありませんが、それぞれの部品をカットモデルにして、内部構成と作動を視覚的に学び、システム全体の働きについて理解を深めることができます。今回のカットモデルを使用して優秀な整備士が育成されることを期待して寄贈しました。



寄贈した尿素SCRシステム実習装置

中学生の職場体験受入れ

三重交通商事(株)

三重交通商事(株)では、地域の中学校の生徒が事業所などの職場で働くことを通じて、実際の職業や仕事について体験したり、働く人々と接したりする学習活動に協力しています。

<最近の実績>

2017年5月	熊野国道SS	2名受入れ
2017年6月/2018年6月	尾鷲SS	各1名受入れ
2017年9月	津丸ノ内SS	2名受入れ
2017年10月	桑名八間通SS	2名受入れ

※毎年桑名・津・南紀地区にて実施しています。

職場体験等の受入れ

三交興業(株)

名阪関ドライブイン・名阪上野ドライブインでは、三重県教育委員会が推進する職場体験やインターンシップ等の受け入れに協力しています。本年も地元中学校から生徒を受け入れ現場実習を実施し、生徒は配膳など軽作業や接客を体験しました。今後も学校のキャリア教育推進に積極的に協力します。



職場体験の様子

学生インターンシップ受入れ

三重交通(株) 鳥羽シーサイドホテル(株)

三重交通グループではインターンシップ受入れを積極的に行っています。

鳥羽シーサイドホテル(株)では、例年夏休みを利用した学生インターンシップを受入れています。本年は、県内外の大学生8名、外国人留学生2名、短大生3名がフロント係(お客様のお出迎えや客室までのご案内)、調理専門学校生4名が、調理係として約10日間実際に現場に入り、研修を受けました。



インターンシップの様子(鳥羽シーサイドホテル)

また、三重交通(株)でも毎年受け入れを行っており、2017年度は夏休み期間を利用した日程で6名、11月に7名、2018年2月に28名の大学生を受入れました。

近年、学校や行政側も学生が就職先を考える貴重な機会としてインターンシップを重要視しており、今後さらに拡大していくことが予想されます。

わくわくワーク職場体験学習

(株)松阪カントリークラブ

(株)松阪カントリークラブでは、毎年6月、地域貢献の一環として、職場体験学習「わくわくワーク」への体験活動の場を提供しています。職場体験学習「わくわくワーク」は、地元中学生が日常の学校生活を離れ、地域に出て様々な活動や体験を通して、豊かな感性や創造性などを高めることを目的とした学習の場となっています。



職場体験学習「わくわくワーク」の様子

「RUN伴 2017 三重」に参加

三交ウェルフェア(株)

三交ウェルフェア(株)は、2017年10月に開催された認知症の啓発イベント、「RUN伴 2017 三重(桑名コース)」にサービス付き高齢者向け住宅「ウェルフェア桑名」の入居者3名とスタッフ3名が参加し、第1区間「七里の渡跡」～「五代茶屋(寺町通り商店街)」のタスキをつなぎました。



「RUN伴 2017 三重」に参加

地域美化活動の実施

名阪近鉄バス(株) 名阪近鉄旅行(株) (株)三交ドライビングスクール

名阪近鉄バス(株)は、大垣駅前にて年3回の清掃活動、またNPO法人「水都まちづくり」を中心とした実行委員会による「水門川クリーン作戦」に毎年参加し、地域の美化活動を行っており、2017年7月に大垣市内の企業や団体、市民の皆さんとともに市内を流れる水門川の清掃を行いました。

名阪近鉄旅行(株)は、観光バスが多く発着するJR名古屋駅太閤通口前の道路及びその周辺にて、毎月第3水曜日に清掃活動を行い環境美化に努めています。

四日市自動車学校では、定期的に自動車学校周辺のゴミ拾い等の美化、道路脇の除草をしています。



NPO法人「水都まちづくり」を中心とした実行委員会による「水門川クリーン作戦」に参加(毎年)



JR名古屋駅太閤通口前で清掃活動



四日市自動車学校周辺で清掃活動

交通安全街頭運動

(株)三交ドライビングスクール

四日市自動車学校では、年間4回実施されている交通安全運動の各運動期間中の初日に、社員により、近隣主要道路にて信号待ちの自動車や、横断歩行者または自転車に向けて、交通安全啓発グッズやチラシを配布し、交通安全を呼びかける街頭運動を実施しています。

また、「交通安全運動実施中」のタスキを掛け、歩行者保護のため「横断中」の旗を持ち、横断者の安全確保に努めています。



交通安全指導の様子

高齢者や学生を対象とした交通安全講習

(株)三交ドライビングスクール

四日市自動車学校では、2年に1回地域の老人クラブと協力して高齢者の方々を対象に、当校指導員が高齢者の事故防止方法などの講習を行っています。また、安全な歩行と横断方法の実演及び指導や、自転車の点検と安全な乗り方を指導し、講習に参加できなかった地域の高齢者に対しても伝達指導できるよう、地域の交通安全指導者を育成しています。

また、地域の高校に当校指導員を出張派遣して、通学時などの事故防止を目的とした安全な自転車の乗り方、危険予測についての交通安全、高校近隣の事故統計等の講習を随時実施しています。実際にあった自転車事故の再現ドラマのDVDを上映し、被害者・加害者となった時の悲惨さを訴えています。



高齢者向け安全講習



高校生へ安全講習会

地域学生へ、社会見学や職場体験学習を実施

(株)三交ドライビングスクール

名四自動車学校では、地域の学校に対し、社会見学や職場体験学習の受入れ協力を行っています。

小学2年生に対しては、社会見学の受入れ協力をを行い、自動車学校の仕組みや社会的役割について学んでもらっています。また、中学校2校に対しても職場体験学習の受入れ協力をを行っています。



社会見学の実施

義援金で西日本豪雨の復興を支援

三重交通グループホールディングス(株)

三重交通グループホールディングス(株)は、2018年7月に発生した西日本豪雨について、被災者の支援及び被災地の復興に役立てていただくため、義援金を岡山県に寄付しました。

岡山県に義援金を寄付



地元木材の活用と雇用の創出

三交不動産(株)

三交不動産(株)の戸建住宅で使用する木材は、創業以来地元大台町産の木材にこだわってきました。それは地域と共に歩んできた歴史です。未来を見据えて山を育てる宮川森林組合から良質な木材を確保し、大台町と第三セクターのプレカット工場(株)エム・エス・ピー)を設立し、加工における品質に責任を持つとともに地元雇用を生み出しています。地域密着の姿勢が高い評価をいただいています。



地元木材を活用(株)エム・エス・ピーより

Mie Kotsu Group

 三重交通グループホールディングス

三重交通グループホールディングス株式会社
〒514-0032
三重県津市中央1番1号
TEL.059-213-0351
<http://holdings.sanco.co.jp/>

2018.11